

令和3年度 事業報告書

2021 LEAF



鹿児島県 奄美パーク

目次

第1	鹿児島県奄美パーク概要	1
第2	令和3年度の事業実績について	2
第3	奄美の郷企画事業	3
1	季節感（年中行事）を取り入れたイベント	3
(1)	奄美パーク開園20周年記念 ネリヤカナヤフェスタ（フラダンス・展示関係・バルーンワークショップ）	
(2)	奄美パーク開園20周年記念 奄美パーク夏まつり～シマジマだより徳之島～	
(3)	奄美パーク開園20周年記念 フユウメコンサート	
(4)	奄美パーク開園20周年記念 奄美パーク春まつり～サンガツサンチ～	
2	わきゃステージ in パーク事業	10
(1)	奄美シマ唄日本一大会&民謡民舞少年少女奄美連合大会	
(2)	ソリストの伝言	
(3)	結々～ゆいむすび	
(4)	アマービレ吹奏楽団第32回定期演奏会	
(5)	島んちゅ会 第11回でい・まーじんま	
(6)	奄美連合シマ唄大会	
(7)	郵政創業150周年記念ミライノウウビンキョク	
(8)	隆柳勘大社中隆柳流舞踊教室おさらい会	
(9)	ほしのうたがきこえる一星を数えたアーティストの歌やお話ー	
(10)	NHKラジオ公開生放送「秘境ワンダーランド奄美！新たな世界自然遺産の魅力」	
3	その他イベント及び自主企画事業	20
(1)	奄美パーク開園20周年記念 ライブステージ②ENCORE MUSIC	
(2)	奄美パーク開園20周年記念 「奄美大島・徳之島世界自然遺産登録祈念・祝賀イベント」	
(3)	奄美パーク開園20周年記念 第15回奄美パークわらべマシ唄大会	
(4)	奄美パーク開園20周年記念 第15回奄美パーク子どもクリスマス会	
(5)	奄美パーククイズラリー・ぱーくまを探せ！	
第4	田中一村記念美術館企画事業	26
1	奄美関連作家展及び招待作家展	26
(1)	奄美の花鳥風月と人々の暮らし	
(2)	海の宮展	
(3)	加賀友禅・大島紬・花織染色作家のまなざし展・奄美	

(4) 奄美（シマ）の輝き・3人展	
(5) 主体美術協会奄美関連作家展「ひぐらし展」	
(6) 主体美術協会奄美関連作家展「8人のモノトーン展」	
2 奄美パーク開園 20 周年記念 美術講演会	32
3 奄美パーク開園 20 周年記念 芸術文化講演会	33
4 奄美パーク・田中一村記念美術館開園 20 周年記念 県美展奄美関連作家展	34
5 奄美パーク・田中一村記念美術館開園 20 周年記念 第 20 回奄美を描く美術展	35
(1) 本展	
(2) 巡回展	
(3) 入選・入賞作品	
6 奄美パーク開園 20 周年記念 龍郷町立小・中学校図画工作・美術科学習発表展	41
7 企画事業ほか	42
(1) 奄美パーク開園 20 周年記念 創作体験教室 日本画講座「奄美を描こう」	
(2) 奄美パーク開園 20 周年記念 夏休み子どもワークショップ「万華鏡をつくろう」	
(3) 奄美パーク開園 20 周年記念 田中一村記念美術館「バックヤードツアー&鑑賞会」	
(4) 学芸専門員派遣授業	
(5) 奄美パーク開園 20 周年記念田中一村記念美術館リモート鑑賞授業	
8 その他自主企画事業	47
(1) 一村キッズクラブ	
ア スケッチ活動	
イ スケッチ活動	
ウ スケッチ活動	
エ 着物デザイン活動	
オ 年賀状づくり	
カ 植物・花のスケッチ	
(2) 田中一村記念美術館 4 コマ劇場	
第 5 奄美パーク応援隊	54

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止となったイベント

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| ・奄美パーク開園 20 周年記念式典 | ・第 3 回 WPA ウォーターパーティー in 奄美パーク |
| ・奄美パーク開園 20 周年記念伝統芸能の祭典“島々の饗宴” | ・ハロウィンイベント |
| ・あまみっ子フェスタ | ・サマーワークショップ |
| ・奄美パーク新春寄席 | ・夏休み親子草木染体験 |
| ・初春唄あしび | ・第 11 回田中一村記念スケッチコンクール |
| ・奄美の郷ライブステージ①・③・④・⑤ | ・創作体験教室「人物画講座」 |
| ・文化の日イベント | |

第1 鹿児島県奄美パーク概要

1 施設設置の目的

鹿児島県奄美パークは、奄美の美しい自然や多様な文化・歴史をわかりやすく紹介した総合展示ホール、奄美シアター及び人々の交流の場を提供するイベント広場からなる「奄美の郷」と、奄美の自然を描き、集大成させた孤高の日本画家「田中一村」の作品を紹介する「田中一村記念美術館」の二つの施設を中核とする奄美群島全体の観光拠点施設として、奄美市笠利町節田の旧奄美空港跡地に建設された。

2 設置者 鹿児島県

3 開園年月日 平成13年9月30日

4 指定管理者 奄美群島広域事務組合

5 園長兼館長 宮崎緑（千葉商科大学国際教養学部教授、元NHK「NC9」ニュースキャスター）

6 園地面積 約77,000㎡

7 総事業費 約76億円（開園時）

8 施設の概要

(1) 奄美の郷（延べ床面積約3,200㎡）

白い貝殻をイメージした外観。建物内の梁などは、琉球松の大断面集成材でソテツの葉をイメージした造形。

- 総合展示ホール、奄美シアター（有料）
- アイランドインフォメーション、イベント広場、レストラン、売店

(2) 田中一村記念美術館（延べ床面積約2,500㎡）

奄美の海をイメージした池に3棟の高倉が浮かぶ様子をデザインした設計。床は奄美大島の山で多くみられるイタジイを使用。

- 常設展示室、特別展示室（有料）
- 企画展示室、ガイダンス室、図書資料室、喫茶・ミュージアムショップ

(3) 一村の杜（面積約7,000㎡、平成19年7月20日完成）

田中一村が描いた奄美の草木を植栽した遊歩道。6つのスポットで構成されており、一村作品に描かれている風景を鑑賞できる。

(4) その他の施設

多目的広場（約3,780㎡）、野外ステージ、展望台、駐車場（約240台）

9 観覧料金（ ）内は20名以上の団体料金（令和元年10月1日改定）

共通	大人630円(500円)	高・大学生420円(330円)	小・中学生310円(240円)
奄美の郷	大人310円(240円)	高・大学生220円(170円)	小・中学生150円(120円)
田中一村記念美術館	大人520円(410円)	高・大学生370円(290円)	小・中学生260円(200円)

10 休園日 毎月第1、第3水曜日

祝日の場合は翌日。ただし4/29～5/5、7/21～8/31、12/30～1/3は開園

11 開園時間 9:00～18:00（7月、8月は19:00まで）

12 入園者数 令和4年3月末現在 延べ2,638千人（令和3年度入館者数69千人）

13 組織 計12名（県職員4、市町村職員4、会計年度任用職員3、特別職非常勤職員1）

園長—次長（県）—総務課長（次長兼務）—担当3（県1、市町村1、会計任用（事務補助）1）

兼館長
（特別職非常勤）

—事業課長（県）

—奄美の郷3（市町村2、会計任用（事業推進員）1）

—田中一村記念美術館3（県1、市町村1、会計任用（事務補助）1）

第2 令和3年度の事業実績について

「奄美の郷」では、総合展示ホール、奄美シアター、アイランドインフォメーションにおいて奄美群島の自然、歴史、文化などの多彩な魅力を紹介し、イベント広場では島唄、伝統芸能などのイベントを定期的で開催しています。「田中一村記念美術館」では、常設展示のほか、企画展示室において奄美関連作家展、招待作家展、奄美を描く美術展などの作品展を定期的で開催しています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大対応で2度の臨時休園期間があり、昨年より多い16件のイベントが中止となりました。奄美大島・徳之島、沖縄の世界自然遺産登録による追い風で、入館者数も一時期持ち直した時期もありましたが、例年と比較し少ない状況となりました。

このような状況の中、奄美の郷では昨年からはじめたYouTube ライブ配信を、原則として全てのイベントで実施し、「わきゃステージ in パーク事業」もライブ配信を行うなど、各イベントで出演者と観客の皆様が楽しむ姿を発信することができました。令和3年7月26日の「世界自然遺産登録」イベントでは、地元高校生の発表やシマ唄のステージとともに登録決定の瞬間をオンラインで共有するなど、会場は盛大に盛り上がりました。多目的広場では、8年ぶりの野外イベントとなる「奄美パーク開園20周年記念フユウンメコンサート」を開催し、奄美群島の各島々にて活動中の「奄チュアミュージシャン」が集結し、島の色が濃く出たオリジナルのステージを披露しました。

田中一村記念美術館では、企画展示室で「奄美の花鳥風月と人々の暮らし展」や「奄美（シマ）の輝き・3人展」などの企画展を開催し、体験型イベントとして「万華鏡づくり」や「バックヤードツアー」、「日本画講座」を実施するなど年間を通じて様々な展示会やイベントを開催しました。

また、「奄美を描く美術展」は、20回目の節目を迎えたことを記念して、東京で巡回展を開催しました。

令和3年は、奄美パークが平成13年9月のオープンから開園20周年を迎えた節目の年で、開園20周年記念式典と奄美群島各島々から様々な伝統芸能が集うイベント「島々の饗宴」を開催する予定でしたが、奄美大島の新型コロナウイルス感染拡大のため、延期することが決まりました。

これからも、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めながら、奄美群島全体の観光拠点施設として、また人々の交流の場所として、奄美群島への誘客を促進し、更なる情報発信と様々な事業を展開してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



奄美の郷 田中一村記念美術館 展望台 旧奄美空港滑走路

第3 奄美の郷企画事業

1 季節感（年中行事）を取り入れたイベント

(1) 奄美パーク開園 20 周年記念「ネリヤカナヤフェスタ」

ア フラダンスパーティー

(ア) 開催日時 令和3年7月18日（日） 13:30～16:00

(イ) 場 所 奄美パーク 奄美の郷 屋内イベント広場及びYouTube ライブ配信

(ウ) 入場者数 約 200 名 YouTube 配信（配信中約 800 回視聴）

(エ) 内 容

奄美の海への興味を深め、人々の交流を図る「ネリヤカナヤフェスタ」のオープニングを、海に囲まれた島国ハワイの伝統文化である「フラダンス」で華やかに盛り上げ、また、昨今、奄美でも盛んなフラダンスチームに発表、交流の場を提供することを目的に開催した。

夏の恒例として地域に定着したイベントだが、昨年はコロナ禍で開催がなく、2年ぶりの開催となった。奄美大島から5団体が出場し、喜界島、徳之島からはZoomと動画を利用して、それぞれ1団体がオンラインで出場した。与論島からも1団体がオンライン出場を予定していたが、開催日前日に新型コロナ感染拡大により会場が閉鎖を余儀なくされたため、出場辞退となった。

ステージでは、就学前の子どもたちによる可愛いらしいダンスから、中高生の元気いっばいのダンス、年齢をかさねた大人たちの情感豊かなダンスまで幅広く多彩なフラダンスが19曲披露され、観客も惜しみのない拍手を送っていた。

また、喜界島や徳之島からの動画は野外で撮影され、海辺はもちろん、牛や馬を背景にしたのどかなものや、夕日を背景にした荘厳な雰囲気のものまで、島の自然の美しさとフラダンスが融合した素晴らしいものであった。

なお、今回のイベントから、県立大島北高校の生徒3名が、奄美パーク応援隊としてボランティア活動で参加し、YouTube 配信用のカメラ操作や、記録写真の撮影を行った。配信については、シーンに合わせてアップや引きなど画面を工夫することが出来、より見やすいものになった。

出演団体は以下のとおり（敬称略）

【奄美の郷出演】ケアラエアロ フラストアジオ、ククイ フラ ハラウ、ロイヤルフラ仲山教室、カレイオ ハウオリ フラ スタジオ、ハウオリ アイ スタジオ

【オンライン出演】Mālama Hula Studio（徳之島）、アヌエヌエ喜界フラ（喜界島）



イ 展示関係「写真展 沖永良部島の海」

- (ア) 開催期間 令和3年7月18日(日)～8月19日(木)
- (イ) 場 所 奄美パーク 奄美の郷 アイランドインフォメーション付近
- (ウ) 入場者数 奄美の郷 7月：2,319名 8月：3,439名 合計：5,758名
- (エ) 内 容

海をテーマにしたイベント「ネリヤカナヤフェスタ」の一環として、写真展「沖永良部島の海」を開催した。沖永良部島のダイビングショップGTダイバーズに写真の提供をお願いし、A3サイズで54枚の写真をアイランドインフォメーション脇のガラス前面に展示した。

沖永良部島の名物でダイバーからの人気も高い、ギンガメアジの大群が渦を巻く「ギンガメトルネード」や水中を泳ぐウミガメ、サンゴ礁にすむクマノミなどのカラフルな魚、カニやタツノオトシゴなど珍しい生き物の写真を展示した。

島外の観光客からは、ダイバーと生き物が一緒に写っている写真に興味深そうに見入り、「沖永良部島へも行ってみたい。」という声が聞かれた。島内の来園者も、ギンガメトルネードなど沖永良部島独特の海の世界の写真を熱心に見ていた。

また、動画のデータも提供していただいたので、8月1日(日)に実施した夏休み子どもワークショップ「バルーンで作ろう」の開催前に上映した。雄大なザトウクジラの親子の映像には、感嘆の声が聞かれた。

奄美パーク開園20周年記念
ネリヤカナヤフェスタ
2021年7/18(日)～8/31(火)
入場・参加費無料

7/18 オープンイベント
フラダンスパーティ
13:30 開演
ステージ出演
● Hou'oli Ri studio
● クワイフラハラウ ● ロイヤルフラ 仲山敬彦
● カレイオハウオリフラスタジオ
● ケアラエロフラスタジオ
オンライン出演
● アメエエ 豊原フラ (豊原 聡)
● Ho'oponununu Aloha (与論島)
● Mialama Hala Studio (徳之島)
無料

7/18-8/31 写真展
沖永良部島の海
写真提供 GTダイバーズ
沖永良部島ならではの！
遠方遠島ギンガメアジの
大群や、ひじなつこい
ウミガメたち。
海の魅力をたっぷり味わえる写真展です。

8/1 夏休み子どもワークショップ
バルーンで作ろう
① 8/1(日) 13:30-15:30
みんなのバルーンを組み合わせて
巨大な海の生き物を作ろう！
② 8/18(水) 13:30-15:30
バルーンパンチ(花袋)を作ろう！
※①②の2日の内容は変わります
(18歳未満)

8/15 **8/26** 夏休み子どもワークショップ
かいがらで遊ぼう
① 8/15(日) 10:00-11:30
② 8/26(木) 13:30-15:00
貝がらで自分だけのアートを作ろう！
絵の具がらやサンゴをもってもOK
貝がらの名前を覚えることもできるよ！
※①②の2日の内容は同じです

夏休み子どもワークショップお申し込みフォーム
7/28締切(定例に差し次順締め切りです) 各回20組
【申し込み方法】
小学生以上(保護者同伴でお願いします) 奄美パークHPから申し込みフォームへアクセス。
奄美パーク 電話 0997-55-2333 HP <http://www.ammpark.com/>
FAX 0997-55-2612 プログ <http://ap125.amamin.jp/>



ウ 夏休み子どもワークショップ「バルーンで作ろう」

- (ア) 開催日時 令和3年8月1日(日) 13:30～15:30
- (イ) 場 所 奄美パーク 奄美の郷 屋内イベント広場
- (ウ) 参加者数 親子7組21名
- (エ) 内 容

海をテーマにしたイベント「ネリヤカナヤフェスタ」の一環として、夏休み子どもワークショップ「バルーンで作ろう」を開催した。当初の予定では、風船を組み合わせて、横7m×縦5mの巨大なタコをバルーンで作る予定だったが、台風による船便の混乱で材料が届かず、急遽用意できる材料でワークショップを行った。事前に申し込みをしていた参加者には内容を変更する旨を連絡し、承諾をもらった上で開催した。

ワークショップの開始前には、写真展「沖永良部島の海」に関連した動画を上映した。

ワークショップでは、バルーンで簡単な犬や花の作成からはじまり、大物のタコの作成にも挑戦。参加者は、親子で協力してバルーンに空気を入れたり、おそろおそろバルーンをねじって形を整えたりしていた。また、あらかじめ絵が描いてあるバルーンへ、クレヨンで色付けも行った。

参加者からは「難しかったけれど、風船を組み合わせるとちゃんと花やタコの形になるのが楽しい。もっといろいろなものを作ってみたい。」との声も聞かれ、達成感を感じてもらえたようだった。参加者は、出来上がった作品や装飾に使っていたバルーンも喜んで持ち帰っていた。

また、県立大島北高校の生徒3名が、奄美パーク応援隊としてボランティア活動で参加。バルーン作成の補助や、動画、記録用写真の撮影などを行った。



(2) 奄美パーク開園 20 周年記念 奄美パーク夏祭り～シマジマだより徳之島～

ア 開催日時 令和3年8月8日(日) 13:30～16:00

イ 場所 徳之島町文化会館

ウ 入場者数 約370名

YouTube 配信(配信中約800回視聴) Instagram ライブ配信(配信中約400回視聴)

エ 内容

奄美群島の島々から一つの島に焦点を当て、その島の伝統芸能に触れるとともに各島の人々との交流を図るイベントで、今回は「徳之島」にスポットを当てた。例年は奄美の郷イベント広場で開催しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、現地徳之島の会場で行い、奄美の郷イベント広場のスクリーンにて、YouTube の配信を上映することとした。

徳之島でもコロナ禍により、久々に開催されたステージイベントということで住民の期待値も高く、事前に配布した入場整理券は早々に全て配布終了した。当日も開場時間前から観客が来場したが、会館スタッフやボランティアの方々が、密にならないように列を整理し案内した。

ステージは黒潮太鼓の勇壮な演奏で始まった。高校生を中心とした結シアター手舞の歌とダンスは、まるでミュージカルの一場面のような感じだった。島口漫談の東三彦さんや、徳之島ちゃんぶる一のステージには抑えながらも笑い声がたえず、徳之島闘牛太鼓、ダンス CORE ではちびっこたちの可愛らしい演技に惜しめない拍手が送られた。最後は中島清彦さんの島唄で締めくくられ、六調は座席で座ったままだが、手踊りをする観客の姿も多くあった。

また、終演後には徳之島各所から物産品の提供を受け、抽選会を行った。マンゴー・ジュース・徳之島カレー・お茶・漬物など豪華賞品に、会場は大いに盛り上がった。

YouTube でのライブ配信は、インターネットのセキュリティと機器の問題でオンタイムでの配信が出来ず、出演者ごとに録画した動画を配信することとした。配信には、時間差があったが、視聴者数は一定数あり、また、急遽、公式 Instagram にてライブ配信も行った。若い世代に利用者が多いためか、結シアター手舞など同世代の出演時間は視聴者数が伸び、新規フォロワー数が20名ほど増えた。



(3) 奄美パーク開園 20 周年記念 フユウメコンサート

ア 開催日時 令和3年12月5日(日) 11:30~15:35

イ 場所 奄美パーク 多目的広場 屋外ステージ

ウ 入場者数 約500名 YouTube 配信(配信中約500回視聴)

エ 内容

今年度のフユウメコンサートは、奄美パーク開園20周年記念として、多目的広場屋外ステージを活用し野外イベントとして開催した。奄美群島各島々においてオリジナル楽曲を制作し、音楽活動を行っている「奄チュアミュージシャン」達が集結し、音の収穫祭と銘打って会場を盛り上げるとともに、YouTube ライブ配信も実施した。

トップバッターは、瀬戸内町から「里朋樹」(奄美大島)さんが出演し、奄美民謡と軽快なトークで会場を盛り上げた。

続いて、「奄美高校郷土芸能部」(奄美大島)の皆さんが登場。最初は、緊張の面落ちだったが、堂々とステージにて歌声を披露し、最後のインタビューではとても爽やかな笑顔で「楽しくできました。」と感想を述べていた。

次に、「サーモン&ガーリック with アニョ」(奄美大島)の皆さんが登場。最初から軽快なトークで会場の笑いを誘い、お客さんとコール&レスポンスの掛け合いで会場を盛り上げた。

次に、「KODAI」(喜界島)さんが登場し、伸びのある歌声で喜界島の自然を想わせる楽曲を披露した。最後は、奄美大島と喜界島の『フユウメ』の違いや喜界島伝承の豊年祭『ソーメンガブー』について説明した。

次は、「EGBAND(城朋仁)」(徳之島)の5人が登場。爽快なROCKサウンドを冬の空へ響かせ、最後は、あまみFMでよく紹介されている『ヤギ汁ピシャー』を披露した。会場は、立ち上がって踊りだす観客で盛り上がった。

次に、「森拓斗&根心屋BAND」(奄美大島)が登場。軽快なレゲエサウンドを響かせ、観客を魅了した。奄美の自然を想わせる楽曲と歌声は、会場の雰囲気と共に聴く人の心に残るような盛り上がりだった。

次に、「川畑アキラ」(与論島)さんが登場。ステージ上で魅せる力強い歌声のパフォーマンスは圧巻だった。「シンガーソングライター」は、コロナに負けるな、ともに走り出そうと訴えかけているようなパフォーマンスだった。

BAND出演の最後は、「バンシローズ」(沖永良部島)が登場。島の暮らしを歌ったり、数字の数を歌にしたり、奄美群島共通の舟漕ぎ大会を歌ったりと親しみやすい楽曲で会場を盛り上げていた。

ステージ最後は、「あらしやげ会」(奄美大島)が八月踊りの掛け声とともに入場した。ステージ前に輪を作り、唄で男女の掛け合いを見せながら八月踊りを披露した。観客も二重の輪になり動きを真似ながら踊っていた。最後は、六調で盛大に盛り上がり全員が一緒に踊っていた。

久々の屋外イベントを楽しんだとあって、帰路につくお客様の顔には笑顔があふれていた。出演者からも「久々の島外で演奏でき、屋外での開催ということでとても楽しく演奏できた。」との感想があった。





奄美パーク開園20周年記念

フェウメ

コンサート

冬折目に奄美の島々より音の収穫祭

森拓斗&根心屋BAND であらしげ会 KODAL 早川樹 川想アキラ EG BAND 川想アキラ 川想アキラ

2021年

12月5日(日)

開場:11:00 開演:11:30
会場:鹿児島県奄美パーク 多目的広場野外ステージ

入場無料 YouTube配信 **【新型コロナウイルス感染予防対策に伴うお願い】**

当日受付にて、入場受付がございます。

雨天時は奄美の郷イベント広場に開催

鹿児島県 奄美パーク 〒894-0504 鹿児島県奄美市姪川町郡田1834 TEL.0997-55-2333 FAX.0997-55-2612
HP>http://www.amamipark.com/ BLOG>http://api29.amamin.jp/

お問合せ：アーマイナープロジェクト tel.0997-53-2202

※屋外ステージでのイベント開催は、約8年ぶりとなります。

(4) 奄美パーク開園 20 周年記念 奄美パーク春祭り～サンガツサンチ～

ア 開催日時 令和4年3月6日(日) 13:30～15:55

イ 場所 奄美パーク 奄美の郷 屋内イベント広場・奄美パーク公式 YouTube チャンネル

ウ 入場者数 約 20 名 YouTube 配信平均 80 名視聴

エ 内容

本土よりも一足早い奄美の春の訪れを喜び、三月三日のひな祭りにちなんで女性中心のステージを毎年開催している。今年度は、鹿児島を始め全国からご当地アイドルのグループを招き、より華やかなステージとし、奄美の魅力を全国に発信する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインでの配信に変更した。

当日、奄美大島へ来島した「S ☆ U T H E R N C R O S S」(鹿児島)、「青 S H U N 学園」(福岡/東京)、「Team くれれっ娘！」(北海道)の3グループは、感染防止対策を行いながらレクチャールームからトークを、「SAY-LA」(東京)、「Star ☆ T」(愛知県豊田市)の2グループは ZOOM を利用しそれぞれ配信した。また、各グループのパフォーマンス動画やミュージックビデオも併せて配信した。

「奄美コーナー」と題し、S ☆ U T H E R N C R O S S の世界自然遺産登録応援ソング「奄美賛歌～ガジュマルの下で待ってるよ」のミュージックビデオの配信や、各グループから奄美の印象などを話してもらった。司会の濱崎亮平さん(奄美テレビ)と各アイドルの皆さんとの軽快なやりとりで、鶏飯や黒糖焼酎などの「食」や、あやまる岬、ハートロックなどの「観光地」について、さまざまな奄美の魅力を発信することができた。

視聴者プレゼントとして、各グループのサイン入りCD等を提供していただいた。応募者からのイベントの感想として「奄美の魅力も含め、アイドルのLiveの他、活動も知ることができ、素敵な配信イベントありがとうございました。」「今回の企画は、全国を暖かくしてくれるのでとてもよかったです。」などの意見が寄せられた。島外の視聴者からは「機会があれば今回紹介のあった場所などにも行って、ご当地グルメも楽しみたいです。」など奄美を訪れたいという意見も多く、次の機会には配信ではなく、ステージ披露を望む声が多く寄せられた。



2 わきゃステージ in パーク事業

(1) 民謡民舞少年少女奄美連合大会&奄美シマ唄日本一大会

ア 開催日時 令和3年6月19日(土) 9:30~12:00 民謡民舞少年少女奄美連合大会
13:30~17:00 奄美シマ唄日本一大会

イ 場所 奄美パーク 奄美の郷 屋内イベント広場

ウ 入場者数 約350名

エ 内容

民謡民舞少年少女大会の全国大会予選として「民謡民舞少年少女奄美連合大会」、日本民謡フェスティバルの九州大会予選として「奄美シマ唄日本一大会」を、公益財団法人日本民謡協会奄美連合委員会の主催で開催。小学校低学年から大人まで合計89名が全国大会、九州大会への出場をかけて自慢の歌声を競った。

歌唱が始まると、出演者の緊張が伝わってくるのがわかり、審査員、スタッフ共々、真剣に大会に臨んでいた。

大会の合間にゲスト出演者によるシマ唄が披露されると、会場からは、拍手や指笛の音が上がり、会場に響き渡っていた。

審査委員長を務めた日本民謡協会の菊池淡茂さんは「奄美はシマ唄に意欲的な人が多く、全国に比べて歌唱力が高く出演者のレベルが互角の地域だった。」と講評した。

大会の最後は、出演者や関係者らが一緒になって六調を踊り、にぎやかな締めくくりとなった。

最優秀賞及び各部門の優勝者は次のとおり(敬称略)

『民謡民舞少年少女奄美連合大会』

【小学校低学年の部】原 美波 【同高学年の部】朝 そら

【中学校の部】朝岡歩紀花

『奄美シマ唄日本一大会』

【青年の部】古澤 奈那美 【壮年の部】松崎 博文 【中年の部】山久 広男

【高年の部】福山 幸司 【翁松の部】福田 のり子 【錦寿の部】久保 文雄



(2) ソリストの伝言

ア 開催日時 令和3年6月26日(土) 14:00～14:45, 15:30～16:15

令和3年6月27日(日) 14:00～15:00

イ 場所 奄美パーク 奄美の郷 屋内イベント広場 YouTube 配信視聴者 17名

ウ 入場者数 2日間合計 約150名

エ 内容

宇検村虹の園(理事長 前田キヨ子)の主催で、世界的バイオリニストの佐藤美代子さんらによる優雅な調べを奏でる演奏会として開催。佐藤さんは、パリ国立高等音楽院を首席で卒業後、イギリスやフランス、南米など世界各地で活躍したバイオリニストで、1度挫折したものの70代で復活し、音楽活動を再開した。今回は、画家・田中一村との「孤高の共演」をテーマに奄美の地で生演奏を披露した。

主催者の前田キヨ子理事長の想いも強く、生のバイオリンの音を奄美のみなさんに届けたいということで、本番でもマイクを通さず演奏された。共演されたギタリストの「佐藤ふじを」、 Hammondオルガン奏者の「金井章(カイヤキ)」も華を添え、奄美大島の自然や、虹の園の写真を背景に、心地よい演奏を披露していた。

仲川文子氏の詩の朗読と、 Hammondオルガンのコラボもあり、来場者は、目を閉じて聞き入ったり、身体を揺らしながら心地よいサウンドに身を任せていた。

27日の公演のみ YouTube ライブ配信を行い、生のバイオリンの音を拾い、会場へ来ることができなかった方へ演奏を届けることもできた。

演奏した曲は次のとおり。バッハバイオリン協奏曲1番・白鳥(サンサーンス)・チゴイネルワイゼン・天然の美・タイスの瞑想曲・浜辺の歌・島のブルース



わさやステージ in パーク



没後 世界に評価された
孤高の画家・田中一村と
孤高のバイオリニスト・佐藤美代子が
時空を超え、世界遺産の奄美大島で出会う
奇跡の瞬間を共有しませんか！

日時
令和3年6月26日(土曜日)
1回目 午後2時～2時30分
2回目 午後3時30分～4時15分
出演者
オオルン 金井章(奄美村虹の園音楽担当) 金井章
バイオリン 佐藤美代子 浜辺の歌、チゴイネルワイゼン
ギター 佐藤ふじを 浜辺の歌、チゴイネルワイゼン
エレクトリックギター 田中一夫
 Hammondオルガン 金井章
朗読 仲川文子(詩人) 一村会初代事務局長
主催 前田キヨ子(宇検村虹の園理事長) 吉澤敏雄(土)

会場
奄美パーク
入場無料
YouTube 配信有
27日のみ

(3) 結々～ゆいむすび

ア 開催日時 令和3年7月4日(日) 12:45～16:00

イ 場所 奄美パーク 奄美の郷 屋内イベント広場

ウ 入場者数 約30名 YouTube視聴者 10名

エ 内容

午前9時から第1部として、奄美パーク入口下の浜の清掃を行い、第2部として奄美の郷屋内イベント広場で「奄美大島の自然から考えるSDGs」と題し、パネリストと県立大島北高生によるトークセッションが行われた。

司会は、結々(ゆいむすび)から、黒瀬氏、西氏の二人が進行を務めた。パネリストとして、川畑力氏(奄美自然観察の森指導員)、荒木マサヒロ氏(天の川ハンター・奄美観光大使)、常田守氏(奄美自然環境研究会会長)の4人が壇上に上がった。

トークセッションでは、SDGsのテーマに沿って、スライドを出しながら、パネリストが見解を述べた。随所で司会者から高校生へマイクを向け、堂々とそれぞれの意見を述べていた。

休憩タイムでは、朝光介(from カサリンチュ)さんのパフォーマンスがあり、パネルセッションの緊張を溶かすような、やさしい歌声や熱の入った歌声を聞かせ会場の観客を盛り上げた。

後半のトークセッションでは、パネリストと高校生による交互の質問が繰り広げられ、お互い丁寧に質問に答えていた。

最後は、各人が感想を述べ、司会者が次回のイベントでまた会いましょうと締めくくった。



(4) アマービレ吹奏楽団第32回定期演奏会

ア 開催日時 令和3年7月25日(日) 14:00～15:00

イ 場所 奄美パーク 奄美の郷 屋内イベント広場

ウ 入場者数 約150名

エ 内容

アマービレ吹奏楽団は、地元の音楽愛好家が集って1988年に結成された。音楽用語(イタリア)で「愛らしく」という意味の「アマービレ」と奄美の「奄(あま)」を掛けて団名がつけられた。金管、木管、打楽器で編成され、10～50代の約35人が奄美市を拠点に活動している。

毎年開催されている定期演奏会だが、昨年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となり、1年半ぶりの公の場での演奏会となった。

総勢26人の演奏者がステージ上で、静かに開始を待っていたが、1曲目が始まった瞬間、全員の音が力強くイベント広場に広がった。音圧に圧倒されるくらいの迫力ある演奏で、出だしから観客の心をわしづかみにし、視線をステージからそらすことのできないパフォーマンスが披露された。

最後の曲を演奏し終わると、客席からアンコールの声がすぐに上がり、アンコール曲を披露。客席からは大きな拍手が送られ、ステージや客席にたくさんの笑顔が見られた。

演奏曲は「タイムカプセル」、「ドラえもん」、「ロマネスク」、「吹奏楽のための『エール・マーチ』」、「君の瞳に恋してる」、「嵐メドレー」。そのほか、共演の奄美オーケストラ(弦楽アンサンブル)が4曲を演奏した。



わきゃステージinパーク

アマービレ 吹奏楽団

令和3年7月25日(日)

開演：午後2時00分

奄美パーク イベント広場

第32回
定期演奏会

入場無料



(5) 島んちゆ会 第11回 でい・まーじんま!

ア 開催日時 令和3年11月7日(日) 13:30~15:30

イ 場所 奄美パーク 奄美の郷 屋内イベント広場

ウ 入場者数 約200名

エ 内容

龍郷町の島唄教室「島んちゆ会」主催によるイベント。6月に開催予定だったが、コロナ禍のため11月に延期しての開催となった。

主催者の福山幸司さん、平久美さんによる島唄「長朝花節」で幕を開け、教室の生徒さんによる島唄や、三線の合奏が披露された。大島紬を着用した出演者も多く、華やかな雰囲気、観客の皆さんもじっくりと耳を傾けていた。

また、隆柳勤大社中による日舞、小中学生のフラダンス、加計呂麻島の唄者・宮畑義広さんの島唄等、多彩なプログラムが披露された。子どもたちによる舞踊やフラダンスでは、客席から手拍子がわき、大きな拍手が送られていた。締めくくりの「六調」では、出演者や観客も入り混じって踊り、大いに盛り上がった。

観客からは「久しぶりのイベントで島唄が聴けてよかった。」「娘が舞台上で踊る姿を久しぶりに見れて嬉しかった。」など、イベントの再開を喜ぶ声が多数聞かれた。



(6) 奄美連合シマ唄大会

ア 開催日時 令和3年11月13日(土) 9:30~14:00

イ 場所 奄美パーク 奄美の郷 屋内イベント広場

ウ 入場者数 約100名 YouTube視聴者 20名

エ 内容

公益財団法人日本民謡協会に加盟している奄美群島内の各支部から選出された唄者75名が、7部門で民謡民舞全国大会の出場権をかけて自慢の唄声を競った。

各部門の優勝者を決定した後は、優勝者のみが出場する協会賞争奪戦で全国大会の「内閣総理大臣賞争奪戦」出場者を決定した。

大会が始まると出演者はもちろん審査員も緊張の面持ちであったが、昨年度の記録保持者や奄美連合委員のゲスト出演者によるシマ唄が披露されると、会場からは、拍手や指笛が沸き起こっていた。

成績発表後は、大澤淡洞審査委員長による講評が行われ、「歌詞の内容をしっかりと理解して唄うことが大事。独特の発音も多いのでよく研究して唄って欲しい。今回の参加者は、それらがとても良かった。」と、参加者を評価した。

大会の最後は、出演者や関係者が一堂に会し、会場全体で六調を踊り賑やかな締めくくりとなった。最優秀賞及び各部門の優勝者は次のとおり(敬称略)

【協会賞争奪戦 最優秀賞】福山 幸司

【青年部】指宿 桃子 【成年部】松崎 博文 【壮年部】福山 幸司

【中年部】平 久美 【高年一部】 勢田千代美 【高年二部】水間 和代

【高年三部】阿部 ミネ子



(7) 郵政創業 150 年記念ミライノユウビンキョク

ア 開催日時 令和3年11月21日(日) 10:00~16:00

イ 場所 奄美パーク 奄美の郷 屋内イベント広場, 出会いの広場

ウ 入場者数 約400名

エ 内容

奄美大島内の郵便局員が郵政創業150年を記念して企画立案し、『ミライノユウビンキョク』と題して最新の配達機器や、業務体験を通して、郵便局の仕事を楽しみながら知ってもらおうという目的で開催された。

今回のイベントは、時間ごとに参加者を分けて募集し、屋内イベント広場と屋外の出会いの広場にて行われた。屋内では、手紙が配達される仕組みを司会者の説明のもと、「デリロー」と呼ばれる配達ロボットが行って見せた。子供たちは、往復はがきがどのようにして配達されるかを楽しみながら学んだ。

その後、ゆるキャラの「ぼすくま」とその仲間たちが8体登場し、『ぼすくまポッサー! ダンス』を踊って会場を楽しませた。子どもたちもダンスレッスンを受けて一緒に踊って楽しんでいた。

屋外の出会いの広場では、事前に申し込みをした子どもたちが、子ども用の郵便局員の制服を着用し、郵便局員が普段使っている配達バイクや車に乗って写真を撮って楽しんでいた。

配達用ドローンは、試験的にどのように使われているのか映像で紹介されていた。小型ドローンに声で指示を出し動かすブースもあり、担当者の掛声に合わせて子どもたちがドローンに指示を出し操作して楽しんでいた。

子どもたちが、楽しんで参加していた姿を見て、片付けをしている局員の顔も、とても笑顔で嬉しそうに見えた。

郵政創業150年記念イベント
**ミライノ
ユウビンキョク**
わきゃステージIN パーク
お近くの郵便局へお問い合わせください

配達用ドローン
配達車
配達ロボット

屋内
アトラクション
90名限定
お子様
150名限定
アトラクション
屋外

屋内アトラクション
・ワークショップはぼすくまとあそぼ
・配達バイクに乗って、おじいちゃんおばあちゃんと手紙のやりとりをしてみよう。
・配達ロボットとドローンに、お手紙がどのようにして配達されるかを体験しよう。
・ぼすくまと仲間たちと一緒にダンスショーで盛り上げよう。

屋外アトラクション
・ぼすくまとあそぼ撮影: ぼすくまと写真撮影をしよう。
・ちびっこ郵便屋さん: おんモニの郵便車に乗って、郵便屋さんになってみよう。
・ドローンってなあに?: おビードローンを操ったデモンストラーション・体験展示

屋外アトラクションの最終入場時間は15時15分までになります。
2021.11.21(SUN) 10:00~16:00
※イベントは「あまみエフェム・ディ!ウェイブ」様にご協力いただいております。



(8) 隆柳勤大社中隆柳流舞踊教室おさらい会

ア 開催日時 令和3年11月28日(日) 14:00~16:30

イ 場所 奄美パーク 奄美の郷 屋内イベント広場

ウ 入場者数 約250名

エ 内容

令和3年5月の開催予定から新型コロナウイルス感染拡大の影響で、2回の延期をし、3回目ようやく開催することができた。リハーサルでは前日から多くの出演者が参加し、熱心に立ち位置や振り付けの確認を行っていた。

隆柳流舞踊教室は、龍郷町の公民館講座で開設されている教室であり、今回のイベントは、その受講生による「おさらい会」ということで、子どもたちからお年寄りまで約35名が出演した。

会場では、化粧し着物に身を包んだ子どもたちが、出演前に振り付けの確認をする様子や他の出演者とお互いの衣装の確認をしている姿が多く見られた。

児童らのかわいらしい「GO!GO!! たつGO!」を皮切りに演舞が始まると、隆柳勤大社中が「天城越え」や「川の流れるように」を華麗な踊りで披露した。

客席には、子や孫の出演を応援、撮影するために、多くの方が最後まで席を離れることなくステージに見入っており、子どもたちの演舞が始まると会場は笑顔に包まれ、ステージが終わるたびに多くの拍手が鳴り響いた。

ステージの最後は、隆柳勤大(隈元康子)が、豪華な着物に身を包んで登場し、観客を驚かせ、ため息が漏れるような演舞を見せ、イベントは、華やかに幕を閉じた。



(9) ほしのうたがきこえる - 星を数えたアーティストの歌やお話し -

ア 開催日時 令和3年12月11日(土) 14:00~16:30

イ 場所 奄美パーク 奄美の郷 屋内イベント広場

ウ 入場者数 約30名 Live 配信視聴回数 190回 視聴者数 15人

エ 内容

田中一村記念美術館で開催した企画展の「奄美(シマ)の輝き・3人展」の主催者の一人である荒木マサヒロ氏主催でイベントを開催した。

奄美大島で星に関する歌を歌って活躍している『アマチュアミュージシャン』が一堂に集い、荒木氏を含め、星にまつわるエピソードも交えながら進行していった。

まず最初に、荒木氏とFM たつごうの西桂吾氏との「星空トーク」で、星空の神秘と、荒木氏の写真が展示されている企画展についてのエピソードが語られた。

次に、西桂吾氏が「月が見ている」を披露。しっとりと大人の雰囲気を感じさせる歌声は、会場の雰囲気をとても心地よくさせ観客の心をつかんだように見えた。

次に登場したのは、「Kitten Blue」で、「見上げてごらん夜の星を」他数曲を披露。西桂吾作詞作曲による「ひぐらしが鳴き止まない」も披露し、女性ならではのキレイな歌声で、優しく歌い上げた。

続いて、「ふやよみ」が登場し、カニの惑星からやってきたという二人が「カニ宇宙」「星めぐりのうた」を披露。とても不思議な雰囲気を持った曲で、二人の世界へ引きこまれてしまう感じだった。

次に、「CHIHO」が「夜空ノムコウ」「ORION」を優しい歌声で披露。星を見に行こうと歌った曲は、とても元気になる明るい曲で会場から手拍子も起こっていた。

次に登場したのは、「Ichika Sunny」。ピアノを弾き語りする彼女の歌声は、とても優しく会場に響いた。

最後に「詠美衣」が登場し「ポラリス(北極星)」を含む2曲を披露。誰かの目印になるようにと願いを込めたこの曲は、とても力強い歌声で、ステージの最後を締めくくるに相応しい曲だった。



わぎゃステージ in パーク
ほしのうたがきこえる
-星を数えたアーティストの歌やお話し-

2021 12.11. 土

奄美パーク屋内イベント広場
開演 14時 終演 16時 (入場無料)

© 2021 masahiro araki

出演 ふやよみ Kitten Blue 藪内寛和 CHIHO Ichika Sunny 西桂吾
※マスク・検温・消毒等にご協力下さい  ライブ配信あり
問い合わせ
0997-55-2333 鹿児島県奄美パーク
090-3662-0110 MAYASCO 



(10) NHK ラジオ公開生放送 「秘境ワンダーランド奄美！新たな世界自然遺産の魅力」

ア 開催日時 令和3年12月25日(土) 9:50~12:00

イ 場所 奄美パーク 奄美の郷 屋内イベント広場

ウ 入場者数 約30名

エ 内容

今年7月に奄美大島と徳之島が世界自然遺産に登録されたことを受け、NHK 鹿児島放送局が、SDGs キャンペーン「未来へ17action」の一環として、「奄美ラジオ特集～秘境ワンダーランド奄美！新たな世界自然遺産の魅力」の公開生放送を行った。司会は、NHK 鹿児島放送局の荒井匡（あらいただし）アナウンサーで、ゲストに奄美大島出身のアーティスト元ちとせさん、奄美博物館の平城達哉さん、エコツアーガイドの喜島浩介さん、県立大島高校新聞部の畠山葉生さんが登壇し、また、NPO 法人徳之島町虹の会政武文さんは電話での出演となった。

平城さんによる生物多様性についての解説や、喜島さんによる五感に訴える自然ガイドについての話があった。また、ラジオ放送ということで、あらかじめ録音されていた山歩きの様子や、鳥の音が放送され、観客は熱心に耳を傾けていた。

後半からは、県立大島高校新聞部の畠山さんも加わり、「高校生の目線で島の自然の魅力や、ロードキルなどの課題を伝えていきたい。」と頼もしい話もあった。

島唄を3曲披露した元ちとせさんの迫力のある唄声には、観覧客も聞きほれ、手拍子が自然と沸き起こっていた。来園時間がちょうど重なったツアーの団体客も少しの時間だったが観覧しラッキーだったと語っていた。

観客からは「元さんの素晴らしい島唄や、自然についての面白い話が聞けたのでよかった。せっかくなのに観客が少なくて残念」との感想があった。



3 その他イベント及び自主企画事業

(1) 奄美パーク開園 20 周年記念 ライブステージ②「ENCORE MUSIC」

ア 開催日時 令和3年6月20日(日) 13:30～17:20

イ 場所 奄美パーク 奄美の郷 屋内イベント広場及びYouTube ライブ配信

ウ 入場者数 約 200 名 YouTube 配信 (常時約 35 名視聴)

エ 内容

LIVEBOX MA・YASCO の協力のもと、奄美大島で活動するミュージシャン達のライブステージを開催。全 14 組 30 名がオリジナルの 1～2 曲を披露。ジャンルも編成もばらばらのアーティスト達が、個性的な MC も含めて会場を盛り上げた。

ひととき注目されたのが、『ならびや和田, TANA-P』による「ハゲー音頭」と「一村忌」である。

奄美の方言で驚きを表現する「ハゲー」をダンサー付きで披露した。CD も発売中で物販売り場も、開演後に賑わいを見せた。田中一村に敬意を表して作られた「一村忌」も壮大な曲に和田さんの力強い唄声で、会場をにぎわせた。

昨年から新型コロナウイルス感染拡大により、奄美大島内でもライブイベントや発表の場がほとんどなくなったが、一年以上ため込んだ想いを、唄声と MC で会場の観客や YouTube を見ている方々に発信していた。会場からも、拍手とうなずく姿が見られ、想いが伝わったように思えた。

YouTube 視聴者からもコメントが多数あり、出演者への応援のメッセージが投稿された。島外からも待ち望んでくれたイベントとなった。



(2) 奄美パーク開園 20 周年記念 「奄美大島・徳之島世界自然遺産登録祈念・祝賀イベント」

ア 開催日時 令和3年7月26日(月) 16:40～18:30(19:00)

イ 場所 奄美パーク 奄美の郷 屋内イベント広場

ウ 入場者数 約40名

エ 内容

奄美大島・徳之島、沖縄島北部及び西表島世界自然遺産登録を祈念・祝賀するイベントとして開催。当初、審議日程が不明だったため、7月26日に開催することで計画していたが、審議日がイベントと同日となったことで最高のタイミングとなった。

宮崎緑園長の録画動画での挨拶でスタートし、奄美野生生物保護センターの山根篤大氏が「奄美の自然と世界自然遺産登録について」と題し、講演を行った。

野生生物保護センターは、「奄美大島の自然を守るために住民の方々とのワークショップなどを通して啓発活動を行うなどしており、活動を通して、自然を守り、地域を活かす世界自然遺産にすること、素晴らしい自然、大切な生き物がずっと未来まで残るよう島人の宝を世界の宝へ」と述べ講演を締めくくった。

次に、県立大島北高校生徒による「奄美の自然を観光客と地元の人と守るためにどうしたらよいか」と題し、世界自然遺産研究チームの活動報告があった。島民と観光客と共に奄美の自然を守っていくためには、ビーチクリーンや集落歩きなどを通し、奄美の自然を楽しみながら守ればもっと楽しくなるはずと考え、イベントの企画・立案を実行した。その結果から、発見したことを次につなげていくことを約束し、報告を終えた。

次に、県立大島高校のダンス部が、県高校総体「第34回鹿児島県高等学校ダンス発表会」において、優秀賞を獲得した「ケンムン～昔々、在る今日(コンニチ)も～」を披露した。総勢20人による表現力に溢れ、迫力のあるダンスは、会場中の観客を魅了した。一人一人が、顔の表情や体での表現力がとても素晴らしいパフォーマンスをしており、何よりも楽しそうにダンスしていた姿が魅力的だった。次の出演は8/18～19に行われる「菊次郎ミュージカル」に出演すると告知し、ステージを下りた。

イベントの最後は、島んちゅ会による島唄のステージが行われた。最初に、あいさつの唄として「朝花節」を披露。また、取材で会場入りしているKYTの中継が入るため「六調」を披露した。観客の皆さんもステージ前に出てきて、世界自然遺産登録を前に現地も盛り上がっている様子を見せることができた。その後、「くるだんど節」、「イトウ」を披露した。

ステージスクリーンでは、鹿児島県の公式YouTubeチャンネルから世界自然遺産登録の審議の様子を上映した。当初は30分の審議時間となっていたが、開始から13分で審議委員長が木槌をたたき、「奄美大島・徳之島、沖縄島北部及び西表島世界自然遺産登録」が決定した。会場は、拍手に包まれ、ステージにはくす玉が登場し、宮崎次長と県立大島北高生の3名が、くす玉を掛け声に合わせて引っ張り「祝 世界自然遺産決定」の垂れ幕が下がった。ステージ上方からも懸垂幕が勢い良く下がり会場のボルテージは最高潮のまま最後の六調へと移った。観客と出演者、関係スタッフと共に祝いの六調となり、取材テレビ局も舞台上がり撮影していた。

六調終了後、司会者の言葉でイベントは締めくくられたが、会場では、県立大島北高校生や、観客が取材を受けていたり、ステージのくす玉や懸垂幕の前で記念写真を撮る姿が見られた。



入場無料

奄美大島・徳之島

世界自然遺産登録

祈念・祝賀イベント



令和3年7月26日(月) 16:40 ~ 18:30

奄美パーク 奄美の郷 イベント広場にて

出演

- 奄美野生生物保護センター
- ～奄美の自然と世界自然遺産登録について～
- 鹿児島県立大島北高校 世界自然遺産研究チーム
- ～奄美の自然を観光客と地元の人と守るためにはどうしたらよいか～
- 鹿児島県立大島高校 (ダンス部)
- 島んちゅ会 (島唄)





(3) 奄美パーク開園 20 周年記念 「第 15 回奄美パークわらベシマ唄大会」

- ア 開催日時 令和 3 年 11 月 3 日 (水・祝) 12:30 ~ 16:45
- イ 場所 奄美パーク 奄美の郷 屋内イベント広場
- ウ 入場者数 約 200 名 YouTube 配信視聴者数 50 名
- エ 内容

本大会は5月4日(火・祝)に開催予定であったが、奄美大島での新型コロナウイルス感染拡大により延期となり、開催に向けて出演者の調整等を行い、小学校低学年の部に10名、小学校高学年の部に18名、中学生の部に10名の総勢38名と例年より小規模での開催となった。感染拡大の影響もあり、昨年と比較して全体数は減ったが、例年以上に瀬戸内町からの参加は多く、奄美市名瀬や龍郷町からの参加は半数以下となった。親子や姉妹での参加もあり、司会の渡陽子さんとのかけあいも会場の笑いを誘った。そのほか、令和2年度各部門の優勝者である原美波さん、奥野乃佳さん、時岡優里菜さんがゲスト出演した。

藤山審査委員長の講評では「とても甲乙つけがたい内容で、優勝できなかった子も来年は逆転できる可能性がある。」と評価した。また、「シマ唄がうまくなるコツは、シマ唄が好きになることとシマ唄を続けることです。」と出場者にアドバイスした。各部門の各賞受賞者は以下のとおり。

○小学生低学年部門

- 優勝 奈良 恵美 (笠利小学校 2 年)
- 準優勝 東原 光虹 (古仁屋小学校 2 年)
- 第 3 位 泉 璃音 (笠利小学校 2 年)

○小学生高学年部門

- 優勝 新城 琉花 (奄美小学校 4 年)
- 準優勝 津畑 杏朱 (奄美小学校 5 年)
- 第 3 位 泉 奏音 (笠利小学校 6 年)

○中学生部門

- 優勝 朝岡 歩紀花 (赤木名中学校 3 年)
- 準優勝 濱地 咲笑 (笠利中学校 1 年)
- 第 3 位 藤原 梨月香 (名柄中学校 1 年)



第15回 奄美パーク
わらベシマ唄大会
奄美パーク開園 20 周年記念行事

YouTube 生配信

日時 令和 3 年 11 月 3 日 (水・祝)
12:30 ~ 16:30 (終了予定)

※5月に開催予定でしたシマ唄大会が、開催されることになりました！
子どもたちの学びの成果を見に、会場へお越しください。

前年度の大会優勝者がゲスト出演予定！

- 小学生低学年の部優勝 奈良 恵美
- 小学生高学年の部優勝 新城 琉花
- 中学生の部優勝 朝岡 歩紀花

主催 鹿児島県奄美パーク 問：0997-55-2333 奄美パーク公式サイト

(4) 奄美パーク開園 20 周年記念 第 15 回奄美パーク子どもクリスマス会

ア 開催日時 令和 3 年 12 月 12 日 (日) 13:30 ~ 15:00

イ 場 所 奄美パーク 奄美の郷 屋内イベント広場 YouTube LIVE 配信

ウ 入場者数 YouTube 配信 視聴回数 740 回 オンラインクイズ 81 人 会場観覧者数約 400 人
大抽選会 チケット登録者数 1,599 人 当選者数 173 人

エ 内 容

今年度は、昨年度に続いて新型コロナウイルス感染拡大防止のため、従来のイベント形式から YouTube LIVE 配信をメインとし、屋内イベント広場は動画視聴ができない方のみを募集し、約 400 名の観覧があった。イベント当日は午後 1 時ごろから会場が埋まりだし、用意した客席は満席となり、大勢が立ち見で観覧することとなり、YouTube LIVE 配信では、常時 50 人前後が視聴しており、最大視聴者数は 86 人を記録した。抽選会参加に必要な二次元バーコードによる登録が必要なことを知らない方もいたが、12 月 8 日 (水) 午後 5 時を締切としていたため、抽選会への当日受付は公平を期すため行わないこととした。

最初のパフォーマンスは、奄美看護福祉専門学校の生徒がダンスレクリエーションを行った。元気いっばいに踊っていただき、ダンスの中には子どもたちが簡単に楽しく真似ができるようなダンスもあり、小さい子どもたちも一緒に踊っていた。ダンスレクリエーション終了後、動画視聴者を対象に奄美看護福祉専門学校の生徒さんと一緒にオンラインクイズを実施し、クイズ当選者にプレゼントを提供した。

次に登場したのは、鹿児島県出身のパフォーマー K@ito さんで、昨年引き続き大盛り上がりのショーを披露した。

ロープやトランプ、シガーボックスなどを使って、マジックショーやジャグリングなど、様々なパフォーマンスを見せ、会場を盛り上げた。

終盤には、水晶玉を浮かせるというパフォーマンスを見せ、会場全体が神秘的な雰囲気に入れられ、不思議な光景に子どもたちは、驚いた様子で釘付けとなっており、ステージが終わると、盛大な拍手が起こり華やかに終演した。

パフォーマンス終了後は、クリスマス抽選会を行い、プレゼント及び協賛企業の紹介を行い、当選者を奄美パーク HP、各 SNS、会場で発表した。会場の観客で当選した子どもには、プレゼントを手渡し、会場は大きな盛り上がりの中、終了した。



(5) 奄美パーククイズラリー・ぱーくまを探せ！

ア 期間 通年

イ 場所 奄美パーク 奄美の郷内、田中一村記念美術館受付

ウ 内容

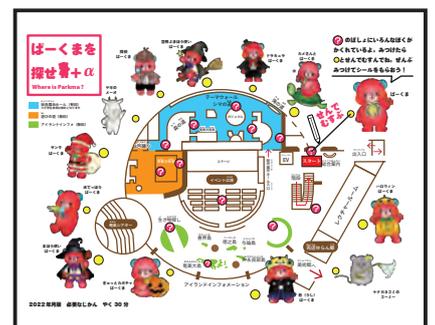
展示物の解説文などからクイズを出題し、ゲーム感覚で奄美の歴史や文化等を学べる「奄美パーククイズラリー」及び、未就学児が楽しみながら施設を探索できる「ぱーくまを探せ！」を実施した。

室内で実施する「奄美パーククイズラリー」と「ぱーくまを探せ！」は、天候に左右されることなく気軽に楽しむことができるため、リピーターの子どもは自らチャレンジする姿が見られ、初めての来客には、内容を説明した上で参加、楽しんでいただいた。両親は、子どもがチャレンジしている間、ゆっくり展示物をみたり一緒に取り組んだりと楽しみ方は様々だった。

20～30代の世代の観光客も多くの方が奄美のことをよく知ろうとチャレンジし、島内在住の方も多くがチャレンジしていた。今年度は、奄美の生物を題材にしたキャラクターも新しく追加した。

クイズを解き終わった参加者には、参加賞として奄美パークのオリジナルキャラクターシールをプレゼントした。全部集めるために何度も来園する家族もあり、奄美パークの誘客にもつながることができた。

定期的に変えたり、ぱーくまの配置替えをすることで、参加者を飽きさせないことや季節に合わせたオリジナルシールを増やしたり、解答用紙の裏側にぬり絵ができるイラストを数種類印刷するなど、参加者がまた挑戦したいと思える様々な工夫を行い、誘客促進につながるよう実施した。



第4 田中一村記念美術館企画事業

1 奄美関連作家展及び招待作家展

(1) KA/CHO/FU/GETSU 奄美の花鳥風月と人々の暮らし～田中一村へのオマージュ～展

ア 開催期間 令和3年4月23日（金）～5月14日（金）

イ 場 所 田中一村記念美術館 企画展示室

ウ 観覧者数 1,919人

エ 内 容

奄美大島の自然に魅せられて9年前に移住した三人の作家達が、それぞれの視点で奄美大島を新たに捉え直し、永瀬哲治氏は、一村作品をオマージュしつつ透明水彩絵の具で奄美の自然を、青木薫氏は、油絵具で奄美特有の生死感を、小田島文顕氏は映像と電子音で奄美の自然が織りなす光や音を、それぞれが感じ表現した美術作品40点を展示した。

4月25日（日）は、小田島文顕氏を中心として龍郷町を拠点に活動している「蟹 蟹 蟹」によるパフォーマンスワークショップが開催された。ワークショップはパフォーマー達が、電子楽器を使い、非日常的な機械音を聞きながら作品を見ることができるとなっており、来館者は美術館の静かな空間と相反した空間を楽しむことができた時間となった。

また、パフォーマーが使用する機材を触ることができ、音が出てくるところを楽しむ子ども達や奏でる不思議な音の世界を、老若男女楽しむことができたワークショップであった。

来館者からは、「コロナ禍で苦しい中、心の癒しとなる展示会だった。」「美術展には珍しい畳間を設けて美術品を飾ることで身近に感じながら見ることができ楽しかった。」「近代美術に近い作品なので親しみやすく、奄美の美しさを各々の作品で表現されており、実際に行って見たのとは違う楽しみかたができ、島外、県外にも奄美の魅力を発信するのに良い企画だと感じた。」などの感想をいただいた。

○関連イベント パフォーマンスワークショップ

令和3年4月25日（土）16:30～「音の対話／Sound-dialogue」パフォーマー「蟹 蟹 蟹」
（田中一村記念美術館 企画展示室 パフォーマンスワークショップ 194名）



(2) 海の宮展

ア 開催期間 令和3年5月16日(日)～6月6日(日)

イ 場所 田中一村記念美術館 企画展示室

ウ 観覧者数 726人

エ 内容

新型コロナウイルス感染拡大防止のため昨年度延期となり、今年度開催することができた「海の宮展」は、宇検村出身の古谷照美氏をはじめ4名の作家たちが、奄美の自然をイメージして創作した作品をそれぞれ20点展示した。古谷照美氏は、150号の大きなキャンバスで奄美大島の海を、飯田欣子氏は七宝作品で海の色や波紋を、松本裕氏は皮革作品で妖精に例えた奄美の山と海を、小泉昌浩氏はガラスで海の波紋などをそれぞれ表現した。

オープニングセレモニーとギャラリートークは、奄美市の新型コロナウイルス警戒レベルが5となったため、中止となった。

来館者からは、「いつもの展示会と異なる雰囲気を感じ、作品がちょうど良い大きさに見え、島の海の渚や霧、色合いに出会えたようであった。七宝、皮革、ガラス作品も少数ながら存在感が大で見応えがあった。」「奄美の海の素晴らしさをさらに実感し有難い気持ちになった。これからも奄美の素晴らしい風景を残してほしい。」「梅雨時で奄美の青い海は諦めていたが、思いがけず、美しいブルー、透き通ったブルーを見られて感激しました。」と感想をいただいた。

○関連イベント(緊急事態宣言を受けイベント中止)

・ギャラリートーク 令和3年5月16日(日) 15:00～

・わきゃステージ in パーク「海の宮展オープニングセレモニー」

令和3年5月16日(日) 16:00～18:00(奄美の郷屋内イベント広場)



海の宮展

2021年 5月16日(日)～6月6日(日)

入場無料 【観覧時間】午前9時～午後6時(観覧日は午後4時まで)
【※6月2日(祝)休館日、6月3日(祝)は12:00閉館】

作家によるギャラリートーク
5月16日15:00～ 企画展示室(参加無料)

【主催】海の宮実行委員会
【共催】田中一村記念美術館(奄美市立美術館) 宇検村教育委員会 奄美市 奄美市教育委員会 原野島芸術館

平面 古谷照美(日本画)
FURUYA Terumi
飯田欣子(七宝)
IKEDA Kinako
立休 小泉昌浩(ガラス)
KOZUMI Masahiro
松本裕(皮革)
MATSUMOTO Yusaku

わきゃステージ in パーク「海の宮展オープニングセレモニー」
5月16日(日) 16:00～18:00 奄美/パーク 奄美の郷 屋内イベント広場



(3) 加賀友禪・大島紬・花織染色作家のまなざし展・奄美

ア 開催期間 令和3年7月9日(金)～7月16日(金)

イ 場所 田中一村記念美術館企画展示室

ウ 観覧者数 908人

エ 内容

加賀友禪作家7名、大島紬・花織作家4名の計11名による作品70点を展示した。

加賀友禪作家の中町博志氏は、普段の日常の中にある物を着物に描き、奄美大島に旅行した際に食べたパイナップルを描いた作品や、年間で雨の日が多い地元金沢の風景を色と模様で描いた作品を、中町豪太氏は、自身のインスピレーションで海外旅行先で見た景色を、柿本結一氏は、昔の技法にとらわれず新しい技法で色彩豊かな作品を、宮嶋千恵氏は、自身の旅の中で見た風景を着物に描く作品を、大島紬作家の越間巽氏は、奄美の草木や天然の蚕を原料とし、様々な色で染められた作品を、花織作家の南修郎氏と裕和氏は、同じ染色作家であった父からの教えを元に、昔ながらの伝統を守りながら新しい作品をそれぞれ展示した。様々な作品がある中で、越間巽氏が着物を染め、その着物に中町氏が菊の絵を描いている共同作品は多くの来館者を魅了した。

3日間に渡って開催したギャラリートークでは、作家一人ずつ制作工程や作品に込めた思いを語った。

来館者からは、「加賀友禪と大島紬の作品を沢山見ることができ感動した。どの作品からも作家の思いを感じることができた。」「後世にも伝えていくべき大切な伝統芸能であり、多くの若者に見てもらい、感じてもらうべき。」等の感想をいただいた。

○関連イベント ギャラリートーク

令和3年7月9日(金)・10日(土)11日(日) 各日11:00～15:00～



加賀友禪・大島紬・花織

染織作家のまなざし展・奄美

■2021年7月9日(金)～16日(金) 9:00～19:00 <最終日は16:00閉場>
■奄美パーク 田中一村記念美術館 企画展示室
鹿児島県奄美市笠利町田中1824
TEL:0997-33-2635

■出品作家 加賀友禪 柿本結一 中町豪太 中町博志 宮嶋千恵 吉本大輔
大島紬・花織 越間 巽・越間恵智子 南 修郎 南 裕和



■共催 奄美群島広域事務組合・奄美パーク 田中一村記念美術館
■後援 鹿児島県・奄美市・金沢市 NHK 鹿児島放送局・南日本放送・鹿児島テレビ・鹿児島放送・鹿児島読売テレビ
南海日日新聞社・奄美新聞社・南日本新聞社・北国新聞社・北陸放送・テレビ金沢



(4) 奄美（シマ）の輝き・3人展

ア 開催期間 令和3年12月4日（土）～12月19日（日）

イ 場所 田中一村記念美術館 企画展示室

ウ 観覧者数 2,437人

エ 内容

「奄美（シマ）の輝き・3人展」は、喜界島出身の吉行秀和氏、奄美市笠利町出身の築地憲三郎氏、埼玉県出身で現在、奄美観光大使に任命されている荒木マサヒロ氏による3名の作家たちが、写真を73点展示した。吉行秀和氏は、海や空、マングローブなど島内でしか見ることのできない作品を50点展示し、築地憲三郎氏は旅行に行った気分になるような国内外の作品12点を展示、荒木マサヒロ氏は、奄美で見ることのできる星空を、星座の名前を記入して誰でも星空に興味をもてるような作品11点を展示した。

連日、群島内の美術愛好家や観光客が多く来館し、毎日作家たちが作品説明を行い、作家たちが想いを込めた作品を一つ一つじっくり鑑賞している姿が見られた。

来館者からは、「奄美の素晴らしさに驚き、改めて奄美の自然の素晴らしさを再発見させられた。奄美は素敵なおとこが沢山あるのだと思うと嬉しく感じた。」「3名の写真家による写真展はそれぞれの世界観があり、見応えがあった。素敵な夢のような時間だった。また開催してほしい。」などの感想をいただいた。

シマ かがや
奄美の輝き・3人展
奄美を愛する3人の写真家が集まった。
吉行秀和 / 築地憲三郎 / 荒木マサヒロ

2021.12/4 sat → 12/19 sun (休館日 12/15 wed)
9:00 ~ 18:00 最終日12/19は16:00まで 観覧無料

輝きの刻!
～アダン～
夕暮れ刻
あまみの浜辺
島からの贈り物
吉行 秀和
1958生
喜界島出身
shimakarano_okurimono

築地憲三郎
笠利町出身 大版在任
2022
奄美の星空
MASAHIRO ARAKI

田中一村記念美術館 (奄美パーク内) TEL 0997-55-2635
〒894-0504 鹿児島県奄美市笠利町節田1834
共催: 鹿児島県奄美パーク・田中一村記念美術館
後援: 南海日日新聞社、奄美新聞社、あまみエフエム・ディ！ウェイヴ、エフエムたつごう



(5) 主体美術協会奄美関連作家展 「ひぐらし展」

ア 開催期間 令和4年3月3日(木)～3月15日(火)

イ 場所 田中一村記念美術館 企画展示室

ウ 観覧者数 1,373人

エ 内容

主体美術協会に所属している奄美出身の畠理弘氏、津江三千子氏、東京出身の小野寺純子氏、返町勝治氏、水村喜一郎氏、千葉出身の野口義博氏、福島出身の緑川敏夫氏、鹿児島出身の有馬久二氏、北九州出身の寺田政明氏の計9名による作品展を田中一村記念美術館企画展示室で開催した。

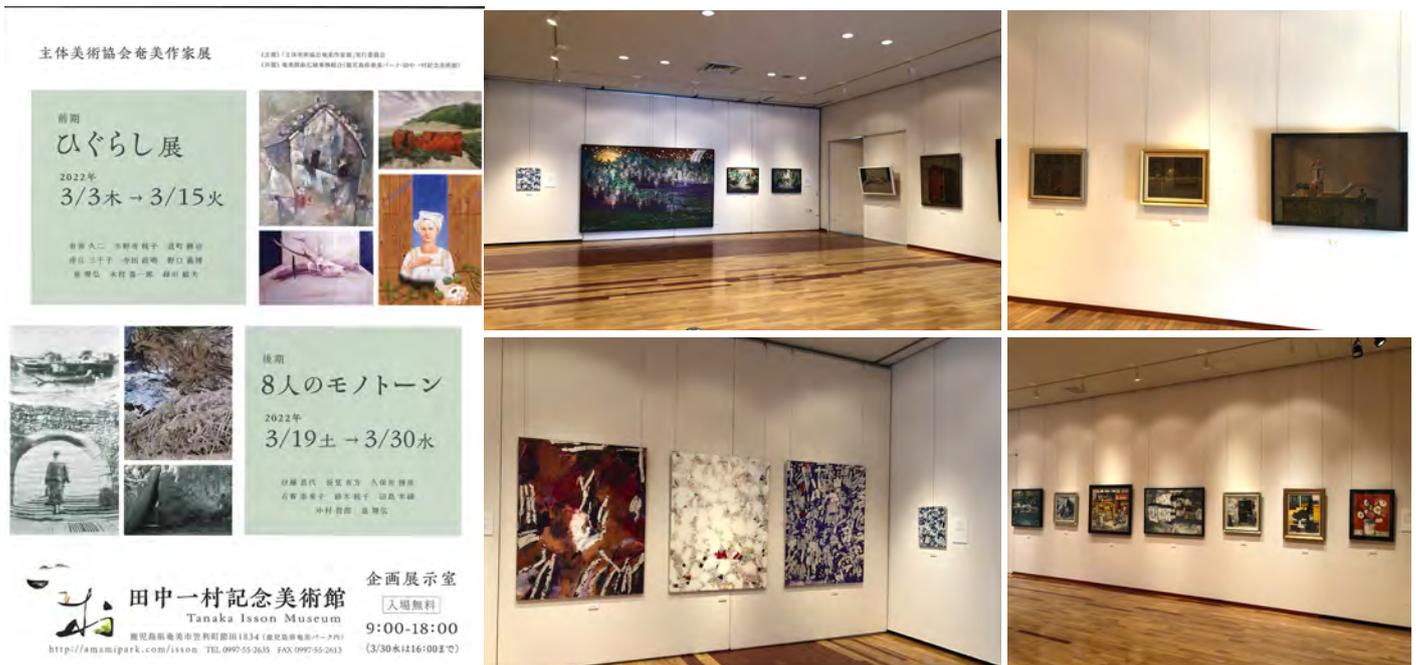
具象や抽象画による表現で、油絵や日本画の作品、計39点を展示した。

3月6日(日)に開催したギャラリートークでは、作家と来場者による参加型のイベントとなり、作品を見るために東京から来られた方や、地元の方々と賑やかな時間となった。内容は、ひぐらし展の歴史や作家による作品解説、日本美術家連盟から作家たちへの取材、パーク応援隊の平久美氏による島唄の披露など、とても充実したギャラリートークだった。

来館者からは、「コロナ禍で沈みがちな毎日だったが、久し振りに素晴らしい作品群に触れ心身共に癒やされました。」「素晴らしい絵画とギャラリートーク、楽しい有意義な時間を過ごせて感謝します。それぞれの感性豊かな作品にふれて、パワーをいただきました。心が豊かになりました。」などと感想をいただいた。

○関連イベント ギャラリートーク

令和4年3月6日(日) 13:00～



(6) 主体美術協会奄美関連作家展「8人のモノトーン展」

ア 開催期間 令和4年3月19日(土)～3月30日(水)

イ 場所 田中一村記念美術館 企画展示室

ウ 観覧者数 1,453人

エ 内容

主体美術協会に所属している奄美出身の畠理弘氏と、奄美関連作家として参加した久保井博彦氏、中村哲郎氏、東京出身の伊藤昌代氏、古賀亜希子氏、鈴木純子氏、田島木綿氏、北海道在住の長見有方氏の計8名による作品展を田中一村記念美術館企画展示室で開催した。

作品は、油絵や日本画、写真、テキスタイル(織物)、染織、造形などの作品計76点を展示した。

3月20日(日)に開催したギャラリートークでは、作家と学芸専門員によるトーク型のイベントとなり、作家それぞれの作品制作の経緯や作品解説を行った。来館者は、ギャラリートーク後、作家の話を思い出しながら作品を見られる姿があり、「制作解説を聞く前と聞いた後で作品の見方が変わる。」と話していた。

来館者からは、「紬の天然染料で素敵な色が出ていてずっと見ていたくなりました。」「前期・後期両方共に作品の見応えがすごく、楽しむことができました。」などと感想をいただいた。

○関連イベント ギャラリートーク

令和4年3月20日(日) 13:00～



8人のモノトーン

主体美術協会奄美作家展

伊藤昌代氏、古賀亜希子氏、鈴木純子氏、田島木綿氏、中村哲郎氏、畠理弘氏、久保井博彦氏、長見有方氏

伊藤昌代
古賀亜希子
鈴木純子
田島木綿
中村哲郎
畠理弘



2022年 3/19土 → 3/30水

企画展示室



田中一村記念美術館

Tanaka Isson Museum

鹿児島県奄美市笠形町田中1834 (鹿児島県奄美市(パーク内))
http://amamipark.com/isson

入場無料

9:00-18:00

(最終日は16:00まで)



2 奄美パーク開園 20 周年記念 美術講演会

ア 開催日時 令和3年6月27日(日) 10:00～11:30 美術講演
11:30～12:00 鑑賞(各自)

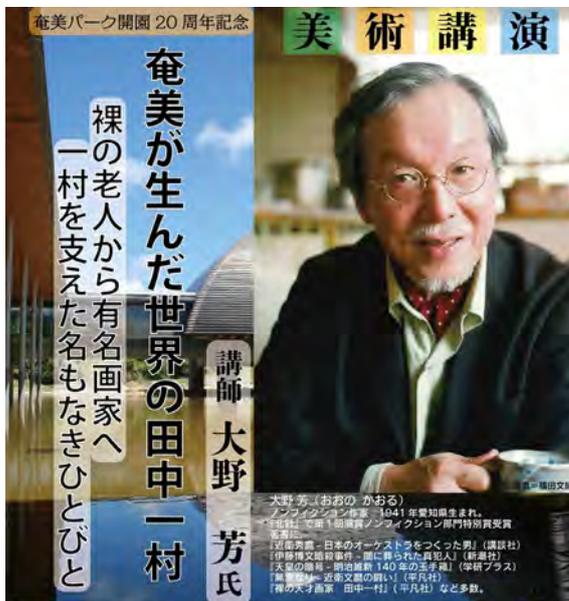
イ 場所 奄美パーク 奄美の郷 屋内イベント広場

ウ 入場者数 32人

エ 内容

令和3年度の美術講演会は、「裸の天才画家 田中一村」著者の大野芳氏を講師に招き「奄美が生んだ世界の田中一村 裸の老人から有名画家へ 一村を支えた名もなきひとびと」というタイトルで講演をしていただいた。

大野氏が執筆に至った経緯、奄美大島に実際訪れた際の当時の取材画像をスクリーンに映しながら講演を行った。講話の終盤には「一村は世界の一村、奄美の皆さんのエネルギーある支援を、子どもたち一村美術館訪問を」と話し、聴講者もうなづく場面があった。聴講者からは、「もっと田中一村を知ってもらい、一村を誇りに思えるような時代を作っていきたい。」「田中一村記念美術館を大事にして、内外に広める必要性を感じた。」と感想をいただいた。



とき 令和3年
6.27日
10:00～11:30 美術講演
11:30～12:00 鑑賞会

ところ 鹿児島県奄美パーク
奄美の郷 レクチャールーム

参加費無料 ※対象年齢 18歳以上

事前申し込み必要 ※抽選20名
申し込み方法 令和3年6月20日(日)までに、電話で申し込みを、右下の二次元コードをスマートフォン等で読み取り、お申し込みください。抽選の結果は6月23日(水)までに各自へ電話でお知らせいたします。

【お問い合わせ先】
鹿児島県奄美パーク田中一村記念美術館
〒894-0504
奄美市笠利町船田1834
電話 0997-55-2635
Fax 0997-55-2613
担当: 有川・宮島



3 奄美パーク開園 20 周年記念 芸術文化講演会

ア 開催日時 令和 3 年 11 月 3 日 (水・祝) 10:00 ~ 11:30

イ 場 所 奄美パーク 奄美の郷 屋内イベント広場

ウ 入場者数 45 人 YouTube 配信視聴者数 76 人

エ 内 容

美術館初代学芸専門員の西村康博氏を講師に招き、一村の功績が流布するきっかけとなった 1979 年の一村遺作展の話や、美術館設立までの貴重な話を、エピソードを含めながら講演していただいた。遺作展までの道のりや苦労話などの話になると、当時を知る聴講者はうなずいている場面があった。

聴講者からは、「一村作品が奄美の宝となり、日本中から愛されるきっかけがよく分かり、西村先生は、使者のような方だと感じた。当時の話が聞けて良かった。」「世界自然遺産登録の年、パーク開園 20 周年記念、芸術文化講演会としてこの講演は時宜にあっており、一村を知る機会となり良かった。あつという間に時間が過ぎてしまったが、年配者が多く、若年層の関心があっても良いと感じた。」などの感想をいただいた。

奄美パーク開園 20 周年記念 芸術文化講演会



＜講師＞
初代学芸専門員
西村 康博氏

一村始まりの遺作展の頃

「アンリールソーや若冲を思わせる構成、本格的な日本画であった。しかも技量は卓越したものに見える。私の愚かな妄想は消し飛んでいた。」
（西村康博氏「田中一村」南海の夢最初の遺作展）
田中一村記念 第一回奄美日本画大賞展目録

日時 11月3日(水・祝)
10:00 ~ 11:30(開場 9:30)

会場：奄美パークイベント広場

会場の方は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用、検温、手指の消毒、来場者カードの記入に御協力お願いいたします。

講演の様子は「奄美パーク公式チャンネル」(YouTube)でも、ライブ配信します。上記の日時に右記の二次元バーコードより御視聴ください。



<http://ur2.link/Adw>

【お問合せ先】

鹿児島県奄美パーク田中一村記念美術館
〒894-0504 奄美市笠利町新田 1834
電話 0997-55-2635
Fax 0997-55-2613
担当：有川・宮島

田中一村 記念美術館
TANAKA ISSON MUSEUM



4 奄美パーク開園 20 周年記念 県美展奄美関連作家展

ア 開催期間 令和3年6月12日(土)～7月4日(日)

イ 場所 田中一村記念美術館 企画展示室

ウ 入場者数 1,325 人

エ 内容

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度中止となり、1年ぶりの開催となった第67回県美展奄美関連作家展は、県美展で入賞、入選した奄美関連作家の作品を、洋画15点、日本画1点、彫刻1点、写真14点、合計31点を展示した。

6月13日(日)のフロアトークでは、鹿児島県美術協会会員の稲光政氏と、久保井博彦氏による作品解説と、出品した作家数名が自らの作品の紹介を行った。

来館者からは、「1つのテーマに絞って作品を楽しむのも、自分の好きな作品だけを楽しむのもいいですが、多種多様な種類を一カ所で観られるのがこの展示会の楽しみです。写真の撮り方や絵の描き方など、自分自身にとって、新しい発見・発想を見つけられる機会にもなります。」「素敵な作品を拝見させて頂き心が梅雨明けのようになりました。」等の感想をいただいた。

○関連イベント フロアトーク

令和3年6月13日(日) 14:00～

奄美パーク開園20周年記念

観覧
無料

第67回 県美展

奄美関連作家展

洋画/日本画/彫刻/写真

会期 令和3年6月12日(土)～7月4日(日)

開館時間 6月12日～6月30日 9:00～18:00 ◆ 休館日 6月16日(水)
7月1日～7月3日 9:00～19:00
7月4日(最終日) 9:00～16:00

会場 田中一村記念美術館企画展示室

関連イベント フロアトーク
6月13日(日) 14:00～

お問合せ先 田中一村記念美術館
〒894-0504 奄美市笠利町節田1834
Tel. 0997-55-2635 Fax 0997-55-2613
<http://amamipark.com/issou/>

主催：奄美パーク・田中一村記念美術館
後援：あまみエフエム・ディ！ウェイヴ、NHK鹿児島放送局、
奄美新聞社、南海日日新聞社、南日本新聞社



5 奄美パーク・田中一村記念美術館開園 20 周年記念 第 20 回奄美を描く美術展

(1) 本展

ア 開催期間 令和3年10月23日(土)～11月21日(日)

イ 場所 田中一村記念美術館 企画展示室

ウ 入場者数 5,262人

エ 内容

奄美を描く美術展は、「奄美」をテーマに全国から作品を募集し、奄美の素晴らしさを全国に発信しようとし、地域企業や美術愛好家など、多くの方々の御支援により、20回目を迎えることができた。

第20回展では、全国から97点(油彩・水彩・アクリル・日本画など)の作品が寄せられ、厳正な審査の結果、入賞11点、入選47点の合計58点の作品を展示した。

今回、審査員長を務めた中島千波先生(東京藝術大学名誉教授)からは、「全体的に絵の上手い人が多く、レベルが高い作品展だと思います。色合いや構図を勉強し、着実に力をつけて絵に真剣に向かう人のしっかり描いている絵がいくつも見られます。特に、最終審査に残った作品はすべてうまさ、深さを感じます。小品は描きやすい大きさですが、構成力を持っていることが大切で、小さな作品も迫力ある作品となります。今回は、残念ながら25歳未満の出品が少なく、コンロンカ賞の該当者はありませんでした。絵の道を志す大学生、高校生の積極的な出品を期待したいと思います。」と講評をいただいた。

来館者からは、「どの作品も素晴らしく、ため息が出ました。生命力に溢れていて、私達の住んでいる奄美はこんなにステキな所だと改めて認識させられました。」「大賞作品は、まるで写真のようで感動した。見慣れた風景にもなるほど…と、改めて感じさせてもらい、時間を忘れてしまうほど見入ってしまった。次回も楽しみにしています。」と感想をいただいた。



第20回
奄美を描く
美術展

奄美に囲まれた奄美の島々には美しい自然、豊かな人権、独特な文化など、素晴らしい環境に恵まれた地域です。この美術展は、全国の美術愛好家の方々が奄美を訪れ、奄美の自然や文化に触れ、心に残る作品を鑑賞する機会を創出するとともに、奄美の文化振興、観光の発展に寄与することを目的に掲げます。

第20回奄美を描く美術展大賞
青木 薫「節立立神」

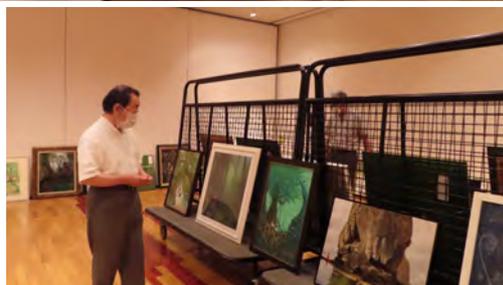
会期：令和3年10月23日(土)～11月21日(日)
 <<休館日：11月4日(木)、11月17日(水)>>
 <<観覧料：無料>>

開館：午前9時～午後6時(※最終日は午後4時)

会場：田中一村記念美術館 企画展示室(鹿児島県奄美パーク内)

主催：奄美を描く美術展実行委員会
 後援：奄美群島広域振興協議会、奄美地区文化協会連合協議会、奄美美術協会、神宮島民協賛会、
 奄美本報社、奄美新聞社、南島毎日新聞社、あまみエフエム・ディ！ウェイブ
 協賛：奄美群島観光局(株)、竹山産業開発(株)、(有)クリンチック美苑、夏見海運産業(株)、
 (株)奄美むいかいワイルド、(株)ビッグフィッシング、(株)ビッグフーズ奄美、八洲産業(株)、
 和道建設(株)、(有)黒田キーンズ奄美のインテリア、(株)鹿児島トラス工業、大島石造(株)、
 鹿児島県立奄美産業振興局(有)、北地建設(株)、宮田商事(株)、奄美山手島ホテル、(株)しまバス、
 (株)トヨタレンタリース奄美、あまみ空運前レンタカー、ウインドウ、(株)鶴田建設、(株)東洋堂、
 神崎、鶴立ゆめ、(株)鳥しん、ひがし薬材、ホナルニュー奄美、(有)ムラタ薬局、鶴立美術協会、
 奄美市会館振興会(株)、大島船材、ホナルウエスト奄美

奄美を描く美術展実行委員会事務局(鹿児島県奄美パーク・田中一村記念美術館内)
 〒894-0504 鹿児島県奄美市笠利町御田1834 TEL099755-2635 FAX099755-2613
 田中一村記念美術館公式HP: <http://www.amamipark.jp/sson/>



～祝・世界自然遺産登録～

奄美パーク・田中一村記念美術館開園 20 周年記念

第 20 回 奄美を描く美術展



奄美パーク・田中一村記念美術館開園 20 周年記念第 20 回 奄美を描く美術展大賞

節田立神 F15 油彩

青木 薫（瀬戸内町）

大変器用な筆遣いで波の表現や水面への映り込みも表現力があり、
岩も生きているような感じで見ると側に想像させる力がある。
15号という作品の大きさを感じさせないしっかりした絵である。

本 展

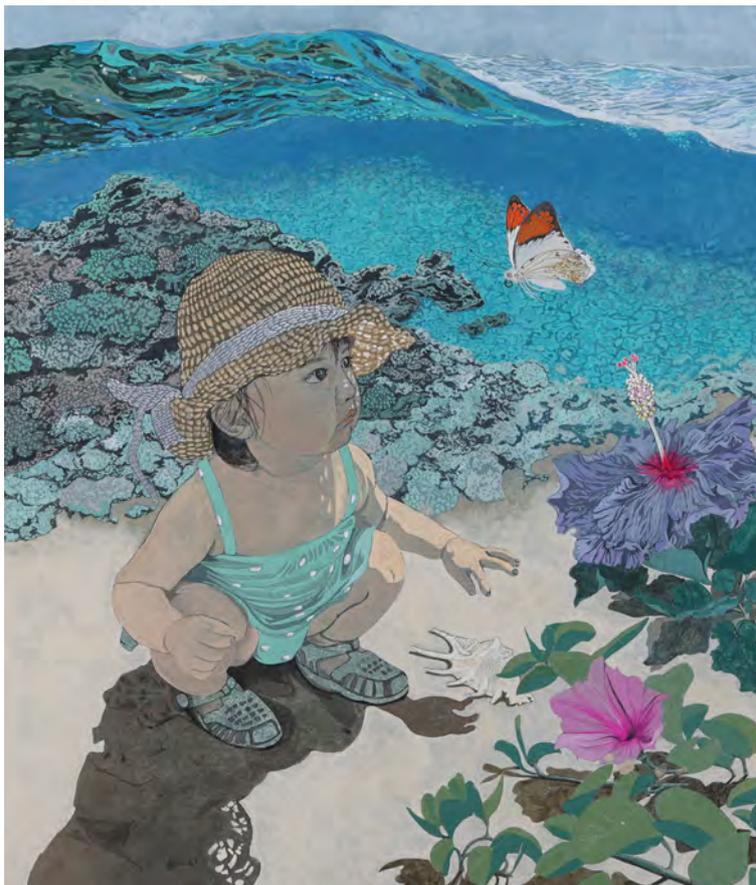
入場無料

会期：令和3年10月23日（土）～11月21日（日）

《11月4日（木）／11月17日（水）休館日》

開館：午前9時～午後6時（最終日は午後4時まで）

会場：鹿児島県奄美パーク・田中一村記念美術館企画展示室



夢の中へ F15 日本画
中村哲郎（奄美市）

一瞬の情景を子どもを通して表現しており、とても落ち着いている。
構図が写真的だが器用で面白い。影の表情も面白い。
子どもの視線がじっと蝶を追いかけている様子がしっかりと描かれている。

優 秀 賞



歓喜の樹 F15 油彩
田中 孝林（福岡県）

バルールがしっかりとされていて空間のバックの明るいところがちゃんと遠くに行くようにしている。
構図的にも面白く下から上を見上げた幻想的な感じがよい。
じっくり見るととても味わいの出てくる作品。

優 秀 賞



**陽を求めて（金作原） F15 油彩
山本 英嗣（大阪府）**

下から上を見上げた幻想的な感じで構図をよく考えている。青の色と暖色系の光のところがとてもきれいで、光が上手に画面に入ってきている。背の高いヒカゲヘゴがよく表現されていて雰囲気が良い。

優 秀 賞



**離郷（龍郷）〜70余年 F10 水彩
平 輝美（福岡県）**

朽ちた杭と水平線が重なっており、赤の線が効果的に生かされている。写真を元としているが、稚拙なところがなく、技術的に卓越している。現実感がしっかりと残っているので見る人間に安心感を与える作品である。

優 秀 賞



**自然遺産の森 F15 日本画
重村敏光（奄美市）**

奄美大島の情景が大変よく出ている。左から右に枝が力強く出ているのがとても印象的。鳥もかわいらしく愛嬌がある。

優 秀 賞



**遙かなる思いに誘われて F15 日本画
上田 泰徳（東京都）**

南国のさわやかな風と光を作品で、海岸線の曲線と色使いが描いた方の実力を感じさせる。

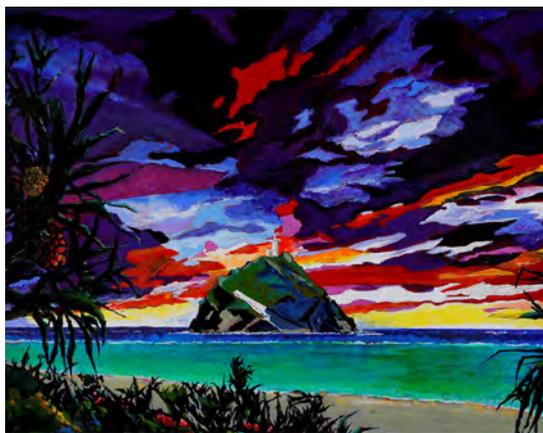
佳作・奄美の海賞



豊饒の海 F15 アクリル
元井 晴美（兵庫県）

丁寧に海の生き物を楽しげに描いているのがとても良い。モチーフに対する愛情あふれる表現で、色合いもよく、生き物らしく描いてある。

佳作・奄美の空賞



AMAMI- ネリヤカナヤ M15 油彩
西口 純一（鹿屋市）

空の変化の様子が大変上手に描かれており、夕焼け、立神、アダンなど奄美らしいモチーフが並んでいる。描かれ立神との補色対比が力強く、見る人に元気を与える作品。

佳作・奄美の杜賞



時感 -AMAMI (2021) F15 油彩
餅原 宣久（鹿児島市）

奄美の生活感を感じさせる絵で、雰囲気が出ている。中心の細かな葉が効果的で全体を引き締めている。右下の陰から左の明るい空に向けて実に分かり易くうまい。

ソテツ賞



太古の間「Amami rabbit」 F15 油彩
平 芳子（奄美市）

不思議な雰囲気をもつ作品。ウサギを愛情ある顔できちんと描いているところがよい。

【審査総評】

全体的に絵の上手い人が多く、レベルが高い作品展だと思います。色合いや構図を勉強し、着実に力をつけて絵に真剣に向かう人のしっかり描いている絵がいくつも見られます。特に、最終審査に残った作品はすべてうまさ、深さを感じます。小品は描きやすい大きさですが、構成力を持っていることが大切で、小さな作品も迫力ある作品となります。今回は、残念ながら25歳未満の出品が少なく、コンロンカ賞の該当者はありませんでした。絵の道を志す大学生、高校生の積極的な出品を期待したいと思います。

審査員長 中島 千波（東京藝術大学名誉教授）

6 奄美パーク開園 20 周年記念 龍郷町立小・中学校 図画工作・美術科学習発表展

ア 開催期間 令和3年12月25日(土)～令和4年1月4日(火)

イ 場所 田中一村記念美術館 企画展示室

ウ 入場者数 1,190人

エ 内容

児童・生徒の創作活動への興味・関心・意欲を高め、美術館を身近に感じてもらうとともに、保護者や地域住民に学校の学習内容や児童・生徒の様子を理解していただき、指導内容等についての情報交換の場となることを目的に、龍郷町立の小学校7校と中学校3校の児童・生徒が、授業で制作した絵画作品471点、立体作品114点、合計585点を展示した。

臨時休館により開催期間が10日間となってしまったが、龍郷町の住民や学校関係者が多く来館し、自分の作品を親や祖父母に見てもらおう親子の姿があった。

来館者からは、「奄美で育っている子どもたちの絵は、明るい色使いが多いと感じた。」「秋名小学校の2年生は特に素晴らしかった。」などと感想をいただいた。

奄美パーク開園 20 周年記念

令和3年度 龍郷町立小・中学校 図画工作・美術科学習発表展

入場無料

2021年 2022年
会期 12/25(土)～1/10(月・祝)
※1/5(木)は休館日

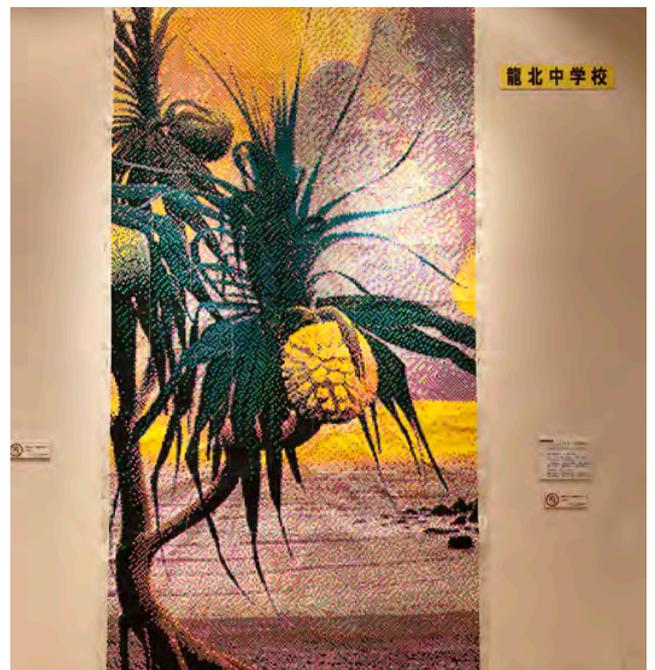
時間 9:00～18:00

場所 田中一村記念美術館 企画展示室

龍郷町の子どもたちが、図画工作・美術の時間に制作した作品を田中一村記念美術館の企画展示室に展示します。子どもたちの頑張りが感性豊かな作品のよさを感じてください。

主催：田中一村記念美術館 後援：龍郷町教育委員会

【お問合せ】 田中一村記念美術館（鹿児島県奄美パーク内）
〒894-0504 奄美市笠利町節田 1834
TEL 0997-55-2635 FAX 0997-55-2613



7 企画事業

(1) 奄美パーク開園 20 周年記念 創作体験教室 日本画講座「奄美を描こう」

ア 開催日時 令和3年6月19日(土) 10:00~15:00

イ 場所 奄美パーク 奄美の郷 レクチャールーム

ウ 参加者数 7人

エ 内容

美術館初代学芸専門員の西村康博氏を講師に招き、日本画の創作体験教室を開催した。

講座では、講師が手本として、一連の流れを実践しながら説明し、初めに木炭でアタリ(線を描き、大まかな位置決めをする下描き作業)を取った後、上から墨で下描きし、日本画用の水彩絵具を使って作品を作成した。参加者は、持参した植物や、野菜などの材料を観察しながら下描きし、途中で講師からも助言をもらいながら作品を仕上げた。講評では「全体的にどの作品もバランスも取れていて上手に描けているが、水彩画は色を最初に作って色をつけていくことが大事なので、描く材料をよく観察して、葉っぱの色もただ緑を入れるだけではなく茶色や赤を混ぜると理想の色に近づくことができる。日常的に絵を描いてレベルを上げてほしい。」と助言をいただいた。

参加者からは、「形を捉えることや色使いが難しかったが、先生の助言で実物に近い形で仕上げることができた。家でも沢山絵を描いて、来年も参加し先生に見てもらいたい。」と感想をいただいた。

奄美パーク開園 20 周年記念 創作体験教室

奄美を描こう

日本画講座

とき 令和3年
6.19
10:00~15:00 (昼食 12:00~13:00)

講師: 西村康博先生
当美術館初代学芸専門員

ところ 鹿児島県奄美パーク
奄美の郷 レクチャールーム

準備するもの モチーフ(植物・貝殻など)、台拭き、昼食、飲み物
※日本画の制作に必要な道具は美術館が準備します。

参加費無料 事前申し込み必要 抽選 10名 ※対象年齢: 16歳以上

申し込み方法 令和3年5月1日~令和3年5月14日の期間に下記【お問合せ先】
の電話か右下の二次元バーコードをスマートフォン等で読み取り、お
申し込みください。抽選は5月15日、抽選の結果は5月17日まで
に電話でお知らせいたします。

【お問合せ先】 鹿児島県奄美パーク 田中一村記念美術館
〒894-0504 奄美市笠利町節田 1834
☎0997-55-2635 Fax 0997-55-2613

田中一村記念美術館 担当: 有川・宮島
https://forms.gle/aceUjWzMF3D6mJA



(2) 奄美パーク開園 20 周年記念 夏休み子どもワークショップ「万華鏡をつくろう」

ア 開催日時 令和3年7月25日(日) 10:00~11:30

イ 場所 奄美パーク 奄美の郷 屋内イベント広場

ウ 参加者数 34人

エ 内容

毎年恒例のイベントとなっている「夏休み子どもワークショップ」は、今年はSDGsを意識し、ペットボトルを再利用して万華鏡づくりを行い、子どもたちに環境について意識をってもらうよう活動を行った。

学芸専門員が作成したパワーポイントを使って作り方の説明を行い、作業時にハサミを使うことやペットボトルの切り口で手を切らないように気をつけることを伝えた。

ペットボトルを切る作業や細かい説明などは県立大島北高校生に手伝いをもらいながら行い、参加者は、分からないところを高校生に聞き、終始楽しくスムーズに作業を進めることができた。

子どもたちは、万華鏡の模様となるビーズやアクリル板を切った材料を、量が多くなりすぎないように注意しながらペットボトルに入れ、周りを粘土で覆う作業時には、親子で粘土を練り、色付け作業や形を整える作業を親子で一生懸命行う姿が見られた。

参加者からは、「ビーズを選んで入れる作業や親と高校生で粘土に色を付けて練る作業が楽しかった。」「子どもたちと工作ができて楽しかった。」等の感想をいただいた。

奄美パーク開園 20 周年記念

参加無料

夏休み子どもワークショップ

まんげきょう

万華鏡をつくろう

参加者募集

田中一村記念美術館では、小・中学生を対象とした夏休み子どもワークショップを開催します。今回のワークショップでは、鏡の反射によって美しい模様をつくりだす「万華鏡」を制作します。

とき 令和3年
7.25日
10:00~11:30

ところ 鹿児島県奄美パーク
奄美の郷 屋内イベント広場

準備するもの はさみ、粘土ペラ、筆記用具
空のペットボトル(500ml)
水彩絵の具、飲み物

定員 小・中学生(抽選) **20人**
小学校低学年のお子様は保護者の方も一緒に制作してください。
申込者多数の場合は、事務局で抽選を行います。

申込み方法 令和3年7月16日(金)までに下記【お問合せ先】の電話か右下の二次元バーコードから、お申し込みください。
抽選の結果は7月19日(月)までに電話でお知らせいたします。

【お問合せ先】 鹿児島県奄美パーク 田中一村記念美術館
〒894-0504 奄美市笠利町節田 1834
☎0997-55-2635 Fax 0997-55-2613
担当：有川・宮島



<https://forms.gle/KLum7W7wW1qpy7>



(3) 奄美パーク開園 20 周年記念 田中一村記念美術館「バックヤードツアー&鑑賞会」

ア 開催日時 令和3年11月14日(日) 10:00~11:30(90分)【午前の部】
13:30~14:50(80分)【午後の部】
令和3年11月20日(土) 10:00~11:30(90分)【午前の部】
13:30~14:50(80分)【午後の部】

イ 場 所 田中一村記念美術館

ウ 参加者数 11月14日(日) 30人, 11月20日(土) 35人

エ 内 容

学芸専門員によるバックヤードツアーは、参加希望者多数のため2日間に分け、午前の部、午後の部と4回開催した。

前半は、美術館の施設の説明で、事務所や館長室、学芸員室、機械室、電気室、荷解倉庫、収蔵庫など普段見ることのできない部屋を紹介し、役割を説明した。また、作業に使用する水平器や照度計、クレーン装置も実際に子どもたちに触れてもらい、美術館の裏側を見て、触れて感じてもらうことができた。

後半は、展示室の案内を行った。一村の生涯を作品とともに説明し、親子で学芸専門員の話聞きながらメモなどを取っている様子があった。

参加者からは、「バックヤードツアーではクレーン装置や収蔵庫を見ることができ、鑑賞会では一村さんの絵が460点あることや、絵を描くまでの観察力や絵を合成してまで描いていたことを知ることができた。」「貴重な体験をさせていただき、子どもたちにとってもいい勉強になった。今まで美術館に興味なかったが、家族でまた来館したい。」「このようなイベントを催してもらい、親子で一村に対する興味が更に深まった。とても良い機会だった。」などと感想をいただいた。

奄美パーク開園 20 周年記念
田中一村記念美術館
バックヤードツアー

2021年
日時: 11月14日(日) 10:00~11:20

参加者募集
小・中学生の親子15人程度

参加費無料
事前の申し込みが必要です

収蔵庫内 中央監視室 作品鑑賞

<見学> 普段は決して見ることのできない美術館の裏側を特別に見学!
<鑑賞> 一村さんの作品を学芸専門員が特別解説! 絵に描かれた秘密とは?

申込み方法・問合せ先

下記の二次元バーコードもしくは、電話で11月5日までにお申込みください。
抽選の上、結果は11月8日までに連絡します。

申込み用二次元バーコード

田中一村記念美術館
奄美市笠利町節田 1834
Tel 0997-55-2635
Fax 0997-55-2613
担当: 有川・宮島

http://urx.red/2L0g



(4) 学芸専門員派遣授業事業

- ア 開催日時 龍郷小学校 令和3年6月9日(水) 13:35～14:20
龍北中学校 令和4年2月28日(月) 10:50～11:40
- イ 参加者数 龍郷小学校 5年生6人 6年生3人 教諭3人 計12人
龍北中学校 児童11人, 教諭5人 計16人

ウ 内 容

(龍郷小学校)

今回の授業は、「田中一村の絵から詩をつくろう」をテーマとし、初めにNHK教育番組「びじゅチューン」よりアンリ・ルソーの作品を元にして歌っている映像を観てもらい、子どもたちには実際に詩を作ることを伝えた。その後、一村の生い立ちを説明したところ、子どもたちは真剣に聞いていた。

制作時には、「初夏の海に赤翡翠」の複製画を子どもたちに細かい部分まで見てもらい、作品に描かれている赤翡翠、花の名前を書き出し、その鳥や花の気持ちや様子を詩に例えて表現することを一人ずつ丁寧に教え、子どもたちは一村がどのような気持ちで作品を描いたのか想像しながら詩を作っていた。

最後は、子どもたちが作った詩を発表し、一つの作品に対し、様々な目線からそれぞれ違った発想で詩が作られることを学んでもらった。

子どもたちからは、「田中一村の絵が細かく丁寧で感動した、美術館に行って他の作品を見てみたい。」「新しい絵の見方で楽しかった、これから絵を見るときもそのように見ていきたい。」と感想をもらった。

(龍北中学校)

今回の授業は、NHK教育番組「びじゅチューン」より、アンリ・ルソーの絵から感じたことをアニメーションと歌にした井上諒の活動を紹介。学習内容は、井上諒の活動と同じように、田中一村の作品「榕樹に虎みゝずく」の作品から感じたものを詩にしようという内容にし、一村の生涯や描かれているものの特徴をヒントにしながら、それぞれ感じたことを言葉にまとめた。描かれているトラフズクの気持ちになって物語まで作った生徒、浜木綿の花が光り輝く様子を希望の光に例えた生徒、ALTの先生まで英語で詩を作り披露するなど、授業は盛り上がった。

龍北中の生徒は、2学期の美術の授業から田中一村の作品や生涯について学んできており、学習発表展では、「アダンの海辺」のモザイク画を展示するなど、田中一村への興味や関心が高い。授業後は「春休みは一村美術館に行って本物を見たい。」「絵を見ながら一村さんの気持ちを感じることができた」などの感想があった。



(3) 奄美パーク開園 20 周年記念 田中一村記念美術館「リモート鑑賞授業」

ア 開催日時 令和3年9月27日(月) 10:30~11:15

イ 場所 田中一村記念美術館 エントランス

ウ 参加者数 生徒179名・教諭1名 計180名(オンライン)

エ 内容

地理的環境で日常的に訪れることができない鹿児島大学教育学部附属中学校2年生179名の生徒とオンライン授業を45分間行った。

初めに学芸専門員から美術館の概要と田中一村の生い立ちを説明し、一村について、基本的な知識を学んでもらった。その後、生徒は、授業の中で主題と表現方法のつながりに着目して、田中一村の作品の良さや美しさを感じ取ることを学習目標とし、学芸専門員から「不喰芋と蘇鉄」の作品紹介を受け、一村が作品に込めた思いや制作に用いた表現方法を鑑賞しながら、自分なりの見方や感じ方をそれぞれ学んだ。

生徒からは、「田中一村がどれだけ絵を愛していたのかが分かり、絵とはその人の性格やその時の気持ち、これまでの努力などが表現されているのではないかと思った。」「美術の活動の授業は好きだが、鑑賞の授業はあまり好きではなかった。今日の授業は、沢山の視点を見て、多くの気づきがあり、鑑賞の授業が好きになった。」と感想をもらった。



8 その他自主企画事業

(1) 一村キッズクラブ

ア スケッチ活動

(ア) 開催日時 令和3年4月18日(日) 8:30～10:00

(イ) 場所 田中一村終焉の家

(ウ) 参加者数 幼児・児童・生徒5名 大人2名 計7名

(エ) 内容

令和3年度最初の一村キッズクラブ活動は、参加者全員で「田中一村終焉の家」周辺の清掃活動後、学芸専門員の指導を受けながらスケッチ活動を行った。

今回は一村も描いた鳥（アカショウビン）をテーマとし、写真を参考に細かいところまで観察しながらスケッチを行った。

初めに体の特徴を捉え、形の単純化をとる作業を説明した後、参加者それぞれがスケッチを始め下描きが終わると、「一色だけ色を使うのではなく、細かいところまで観察して色を選ぶ。」等のアドバイスを受け、参加者は耳を傾けながら絵の具で丁寧に色づけをして完成させた。

参加者からは、「アカショウビンを間近で見ることがなかったので、くちばしや羽、からだ、脚、それぞれ違った色であることが分かり、観察していくと胸の部分からおなかにかけての色が変わり、羽の色が紫色になっているところを絵の具で表現するのは難しかった。」「鳥の絵を描く機会がなかったので難しかったが、特徴を捉えて描くことができた。」などの感想があった。



イ スケッチ活動

- (ア) 開催日時 令和3年6月20日（日） 8：30～10：00
- (イ) 場 所 田中一村終焉の家
- (ウ) 参加者数 園児1名・児童2名・大人2名 計5名
- (エ) 内 容

5月の活動は、奄美大島の新型コロナウイルス警戒レベルが5となったことで中止し、令和3年度2回目となった今回の一村キッズクラブは、学芸専門員の指導を受けながらスケッチ活動を行った。

今回は植物をテーマに、一村終焉の家の周りの植物や持参した植物をモチーフに細かいところまで観察しスケッチを行った。子どもたちは、下描きが終わると前回の学芸専門員から「一色だけ色を使うのではなく、細かいところまで観察して色を選ぶ。」というアドバイスを思い出しながら、葉の一枚一枚の色を少しずつ変えながら作品を仕上げた。

参加者からは「前回のアドバイスを思い出して色を塗り、本当の葉っぱの葉脈など表現できたと思う。」「水彩日本画用の絵具を使うと色が綺麗に出て花の色を表現することができた。」などの感想があった。



ウ スケッチ活動

(ア) 開催日時 令和3年7月18日(日) 8:30~10:00

(イ) 場 所 田中一村終焉の家

(ウ) 参加者数 園児1名・児童4名・大人4名 計9名

(エ) 内 容

今回は、夏らしさを感じてもらうため、スイカ割りを子どもたちに楽しんでもらった後、割ったスイカを水墨画で描くことをテーマにした。

スイカ割りでは、子どもたちは終始興奮した様子で、スイカを割ろうと奮闘している姿を見ることができた。

3玉用意したスイカは、子どもたちによって綺麗に割れ、終焉の家の中で割ったスイカを細かく観察しながらスケッチを行った。その後、墨で輪郭を描き、色づけ作業になると、学芸専門員より墨が乾くと絵具とは混ざらないと指導があり、子どもたちは乾いた墨の上に色を恐る恐る塗り、はじいている様子を見て驚いていた。

最後は、墨でスイカの気持ちを作品に描いてもらい、思い思いの作品を完成させ、割ったスイカは全員で美味しくいただいた。

参加者からは、「スイカ割りも楽しく、墨が絵具をはじくことを初めて知った。また水墨画に挑戦したい。」「スイカの気持ちを想像して言葉に表現するのは難しかったが、楽しかった。」と感想をいただいた。



エ 着物デザイン活動

- (ア) 開催日時 令和3年11月21日(日) 8:30～10:00
- (イ) 場所 田中一村終焉の家
- (ウ) 参加者数 園児1名・児童5名・大人4名 計10名(3家族)
- (エ) 内容

今回は、定規とコンパスを使い、着物をデザインするというテーマで活動を行った。

前半は、画用紙に三角やL字型、円などの線を定規やコンパスを使って描き、連続して線を引くことで組み合わせさせた模様が幾何学模様になっていく様子を見て、子どもたちは驚きながら楽しんで様々な形を描いていた。子どもたちは終始集中して、時には親子で一緒に考えながら楽しむ姿が見受けられた。

後半は、色鉛筆や水彩絵具を使って色付けを行い、デザインに対して子どもたちそれぞれが感じた色をグラデーションやバランスを考え彩色した。

参加者からは、「線と線を繋げているだけなのに色々なデザインができて面白かった。」「学校で友だちに教えて一緒にやりたい。」と感想をいただいた。



オ 年賀状づくり

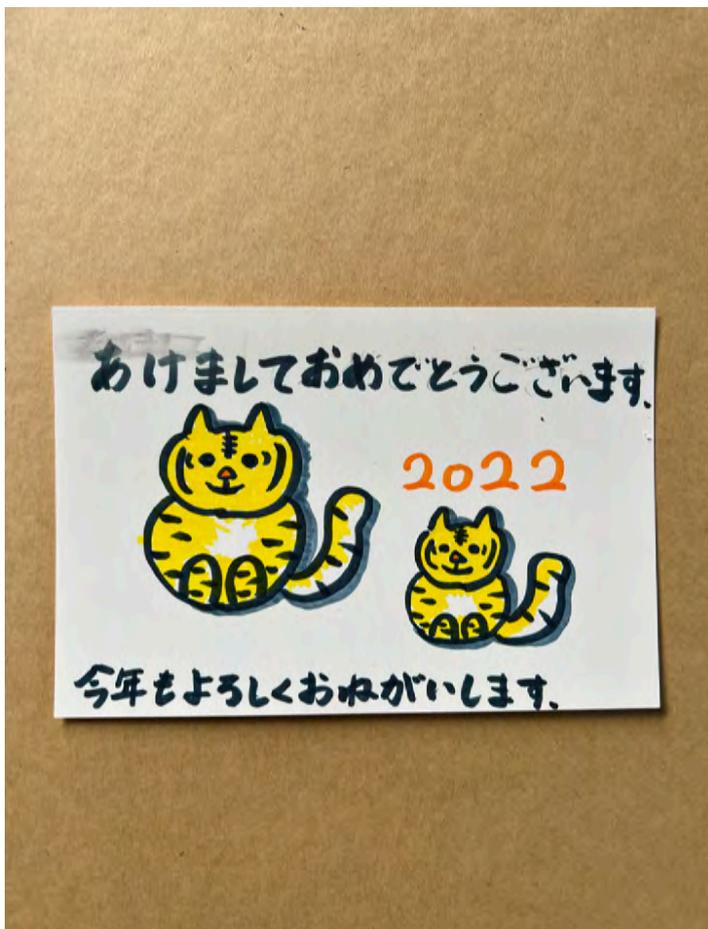
- (ア) 開催日時 令和3年12月19日(日) 8:30～10:00
- (イ) 場 所 田中一村終焉の家
- (ウ) 参加者数 児童3名・大人2名 計5名(2家族)
- (エ) 内 容

今年最後の一村キッズクラブ活動は、田中一村終焉の家や周辺の清掃後、学芸専門員の指導を受けながら年賀状づくり活動を行った。

まず初めに学芸専門員が来年の干支「虎」の描き方について、模様や表情など沢山の描き方を指導し、参加者は表情豊かな虎の絵を描いて仕上げた。

後半は、誰に送るかメッセージを考え、言葉を選び年賀状を完成させた。

参加者からは、「虎の表情や模様、色使いで様々な虎の絵を描くことができて楽しかった。学校で友だちにも教えたい。」「おばあちゃんに送ることを考えて年賀状を作った。喜んでくれると思う。」と感想をいただいた。



カ 植物・花のスケッチ

(ア) 開催日時 令和4年3月20日(日) 8:30～10:00

(イ) 場 所 田中一村終焉の家

(ウ) 参加者数 児童4名・大人3名 計7名(2家族)

(エ) 内 容

今年度最後の一村キッズクラブ活動は、田中一村終焉の家や周辺の清掃後、学芸専門員の指導を受けながら終焉の家に咲いている植物のスケッチを紙皿に描いた。

子どもたちは、自分が気に入った場所を選び、ミカンの木や、ふじの花、ガジュマルをスケッチして、その後彩色していった。1年間で子どもたちは、学芸専門員の説明がなくても自ら進んで描く姿が見られた。

子どもたちからは、「今度は本物の皿に描いて実際に使えるようにしたい。」「植物の色は一色だけでは理想の色にはならない、1年間の活動の中で少しずつ色を混ぜて本物に近づける色にして行くことなどを学芸専門員に教えてもらい沢山学ぶことができた。」と感想をもらった。



(2) 田中一村記念美術館 4 コマ劇場

ア 目的

「田中一村記念美術館 4 コマ漫画配信」は、田中一村の作品や人生について、興味や関心をもってもらうため、田中一村を知らない児童・生徒を対象に、4コマ漫画をSNS等で配信し、田中一村の新たなファンの獲得や田中一村記念美術館への誘客促進を図ることを目的として、月1回のペースで掲載・配信している。

イ 開始日・掲載回数

令和2年8月8日(土)～

美術館HP・シーまブログ・Facebook・Instagram・Twitterにて公開

※令和3年度は、第28話から第38話まで配信(全50～60話予定)

ウ 内容

物知りで絵も上手な少年「奄村 描」と奄美大島きよらむん代表「奄 美郷」の二人が、田中一村の生い立ちや作品、美術館の行事などを紹介する。

第28話
えらぶち
PN: 相沢エリス



※ある親切な魚屋さんが魚を無料で一村さんに提供していたそうだよ。

第32話
祝！世界自然遺産登録勸告
PN: 相沢エリス



※一村さんが描いた奄美にしかない生き物はなにか？田中一村記念美術館で探してみよう！

第33話
リュウキュウアカショウビン
PN: 相沢エリス



※田中一村記念美術館受付には、リュウキュウアカショウビンの鳴き声を聞けることあるよ！また、美術館の遊歩道、奄美の杜では、リュウキュウアカショウビンの鳴き声を聞けることあるよ！

第5 奄美パーク応援隊

1 結成目的

奄美パークの活動を支援し、魅力ある施設実現の一助とし、ひいては奄美群島の観光振興に寄与することを目的として、ボランティア活動を行う。

2 隊員数 64名（令和4年3月31日現在）

3 年間活動回数 29回（六調三線17回・園芸作業12回）

4 活動内容

奄美パーク応援隊は、施設内のガイドを目的に平成15年度に発足した。

平成18年度には、展示案内ガイド・手熟ガイド・園芸サポーター・一村サポーターと、4つの分科会を設けたが、それぞれの活動頻度が異なり分科会によっては、活動実績がない状況にあったため、再度、活動のあり方を見直した結果、平成26年度より分科会を廃止し、展示案内・手熟（三味線や島唄等）の披露・園芸活動・美術館活動・その他活動（奄美パークが企画したイベント、業務等への参加、園内の清掃）と、5つの活動内容で構成し、隊員はそれぞれ得意な分野や興味のある分野を中心に参加することとなった。

隊員には登録証を発行し、ボランティア活動保険への加入と、原則、年に2回以上の活動を義務付けている。登録証は応援隊の活動時以外でも、提示することで奄美パークの有料ゾーンに入ることのできるフリーパスにもなっている。

なお、事務局は月に一度、活動の予定や奄美パークの行事予定、活動報告などを掲載した「応援隊通信」を発行し、すべての隊員へ配付している。

5 活動実績

今年度は、新規隊員が28名、昨年度から引き続き更新のあった隊員が36名、計64名の加入申し込みがあった。

月2回の六調三線の練習は、固定メンバーを中心に、初参加の方なども暖かく迎え入れ楽しい雰囲気で行われていた。団体バスの出発に合わせての六調でのお見送りも好評で、一緒に踊る観光客もおり、笑顔の交流が生まれていた。

園芸活動は、雨のための中止も多かったが、一村の杜や出会いの広場の草取りや清掃などを行った。また、今年度最後の活動日には、工事を終えた2階テラスの花壇に新しい花苗を植える作業をした。肥料の提供もいただき、充実した活動が出来た。また大島支庁建設課有志の皆さんと、土日を利用して草刈作業を行った。

今年度より、県立大島北高等学校の生徒たちがイベントサポーターとして新たに参加。ライブ配信のカメラ操作や撮影、ワークショップの補助等の活動を行った。

新型コロナウイルス感染拡大のための休園期間もあり、活動が途切れがちであったが、隊員の皆さんの意欲と、活動後の満足度は高いと感じた。今後も、コロナ対策を講じつつ観光客の方とのふれあいや、パークの整備など、より充実した活動が出来るように力をお借りしたい。



鹿児島県奄美パーク 令和3年度事業報告書

2021 LEAF 第20号

[発行日] 2023年3月発行

[編集・発行] 奄美群島広域事務組合

鹿児島県奄美市笠利町節田 1834

電話 0997-55-2333 FAX 0997-55-2612

公式サイト <http://amamipark.com/>

公式ブログ <https://apl29.amamin.jp/>